

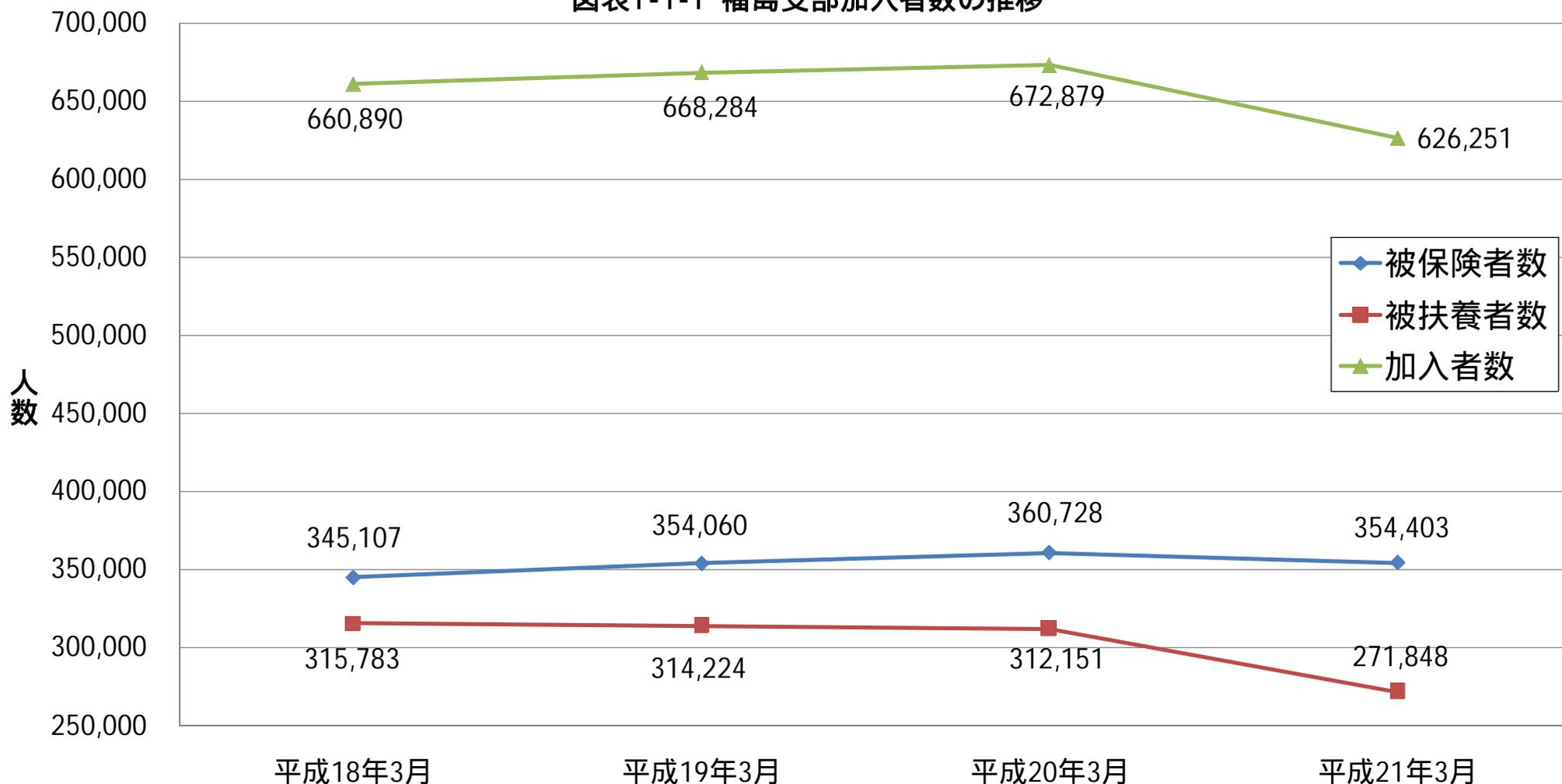
加入者の年齢構成及び医療給付体制 から見た福島支部の医療費について

1.協会けんぽ福島支部加入者数の推移

平成21年3月末の加入者数は626,251人で、前年同月比46,628人減少した。被保険者数は354,403人で、前年同月比6,325人減少した。被扶養者数は271,848人で、前年同月比40,303人減少した。

減少の要因は昨年秋以降の景気後退と平成20年4月から始まった後期高齢者医療制度による影響と思われる。

図表1-1-1 福島支部加入者数の推移

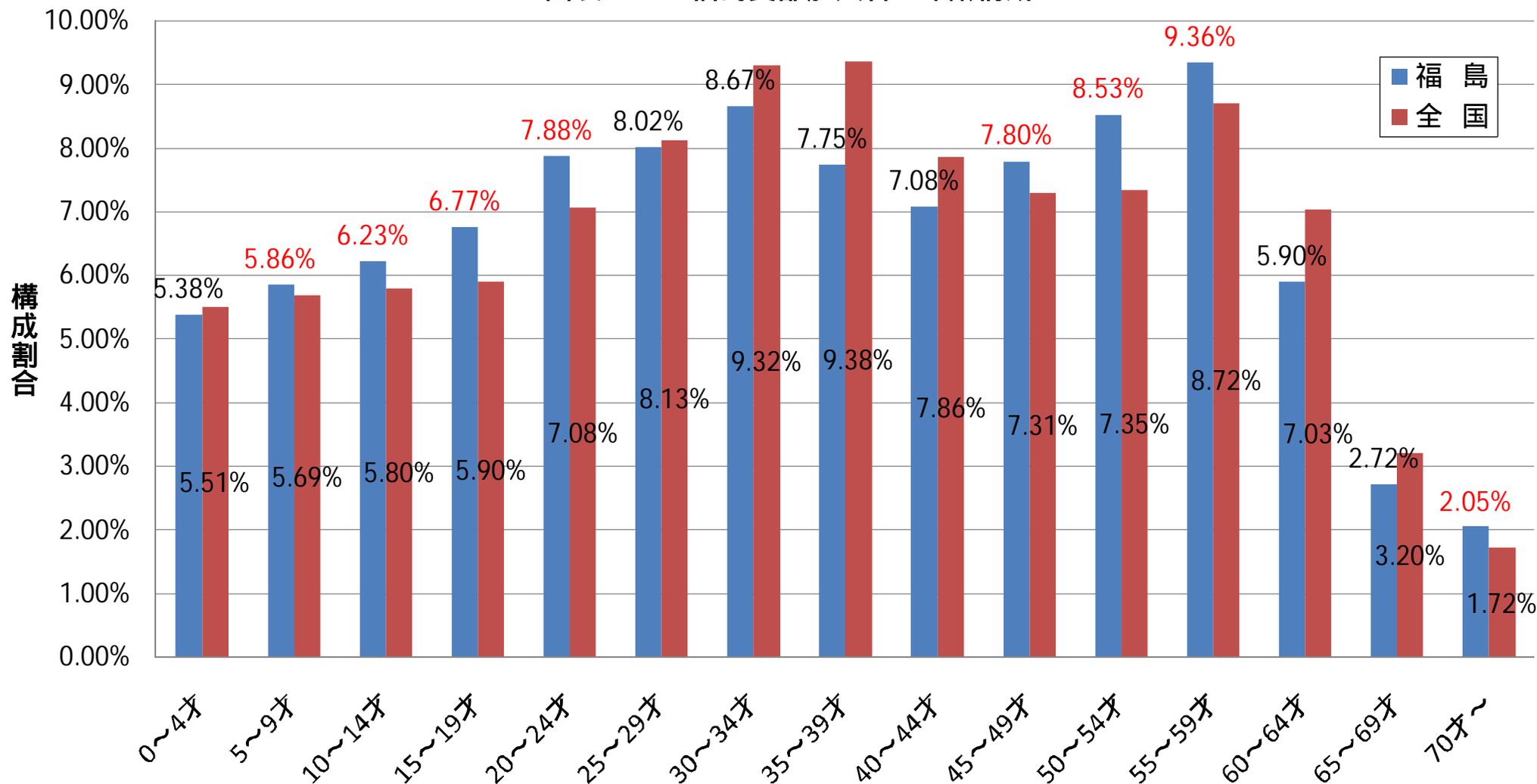


2.協会けんぽ福島支部加入者の年齢構成

(1) 年齢階級ごとの構成割合

平成21年3月末の年齢構成は図表2-1-1のとおりである。5才～24才、45才～59才及び70才以上加入者の構成割合が全国平均に比べて高くなっている。

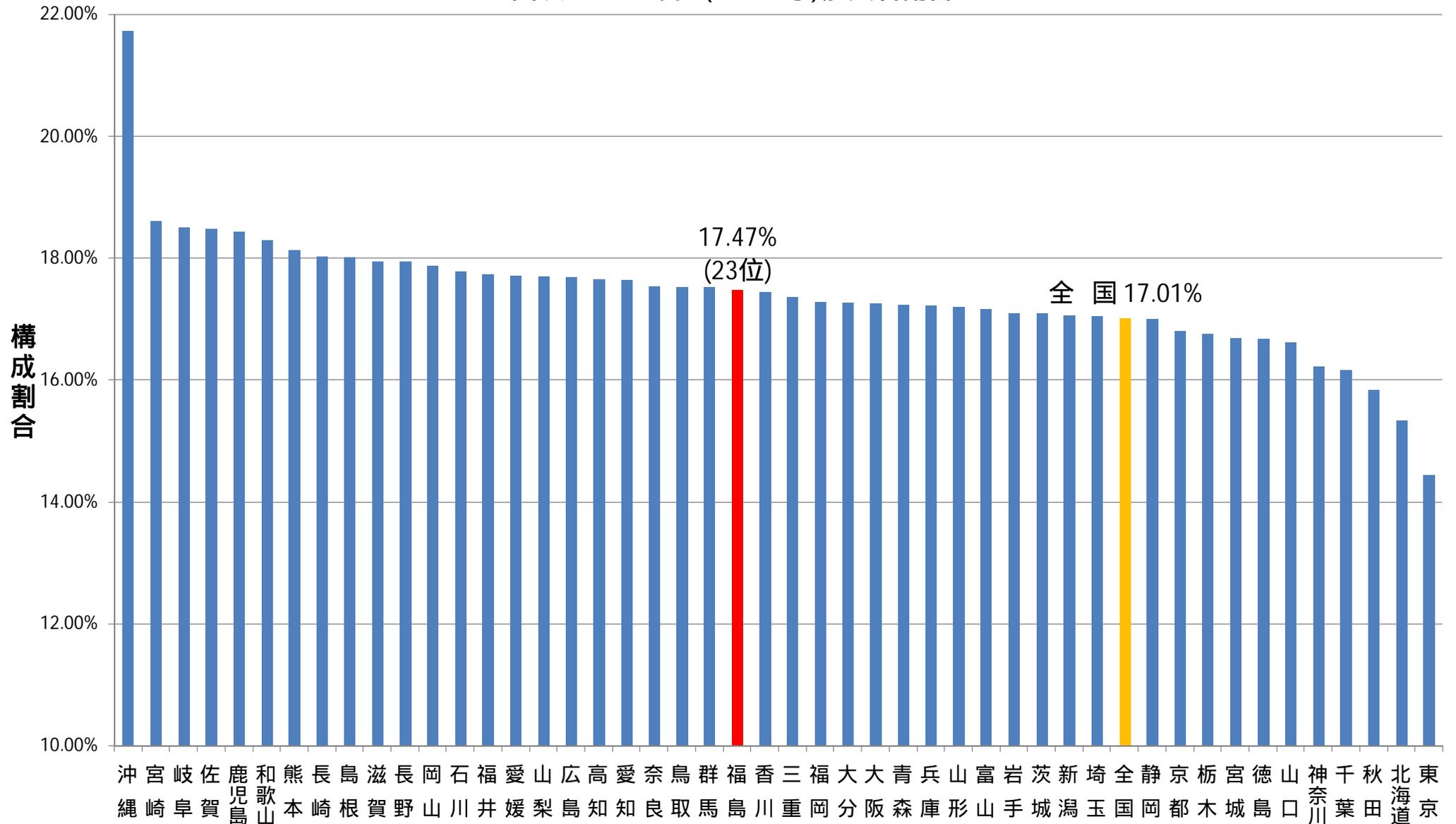
図表2-1-1 福島支部加入者の年齢構成



(2) 年少(0～14才)加入者割合

平成21年3月末の年少(0～14才)加入者数は109,420人で、加入者に占める割合は17.47%である。

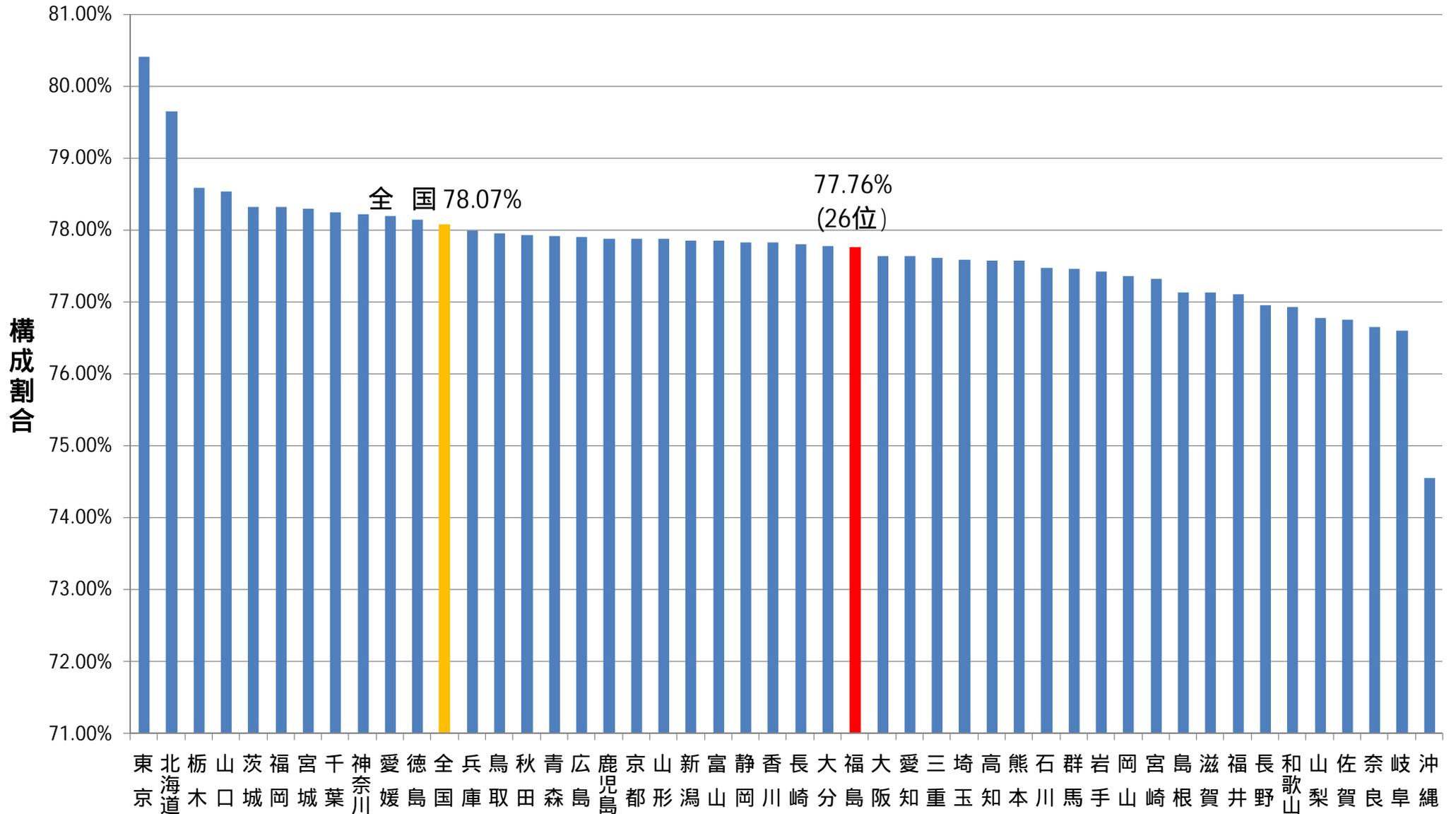
図表2-2-1 年少(0～14才)加入者割合



(3) 生産年齢(15～64才)加入者割合

平成21年3月末の生産年齢(15～64才)加入者数は486,977人で、加入者に占める割合は77.76%である。

図表2-3-1 生産年齢(15～64才)加入者割合

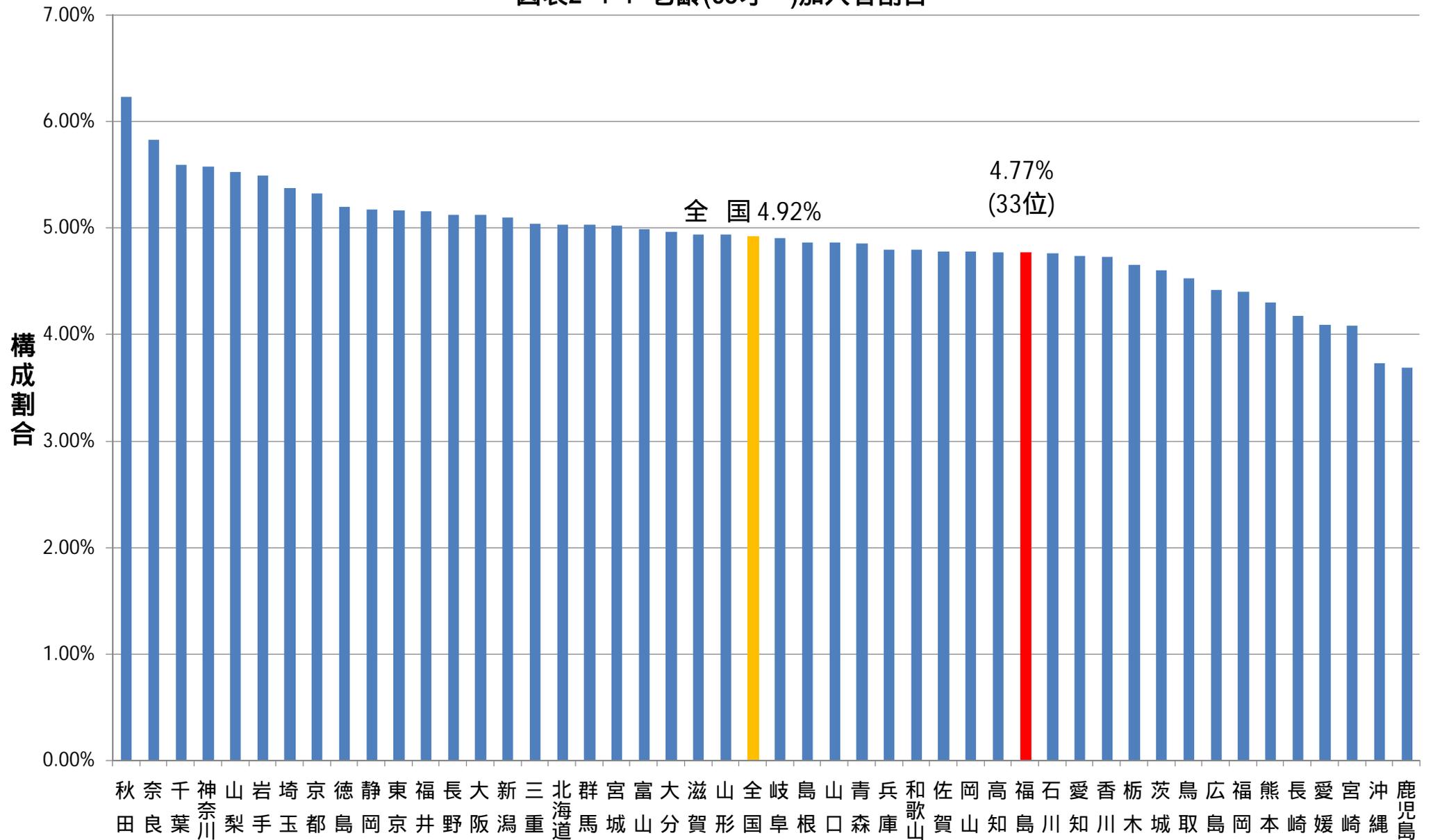


出典：『統計業務システム』（協会けんぽ）

(4) 老齡(65才～)加入者割合

平成21年3月末の老齡(65才～)加入者数は29,854人で、加入者に占める割合は4.77%である。

図表2-4-1 老齡(65才～)加入者割合

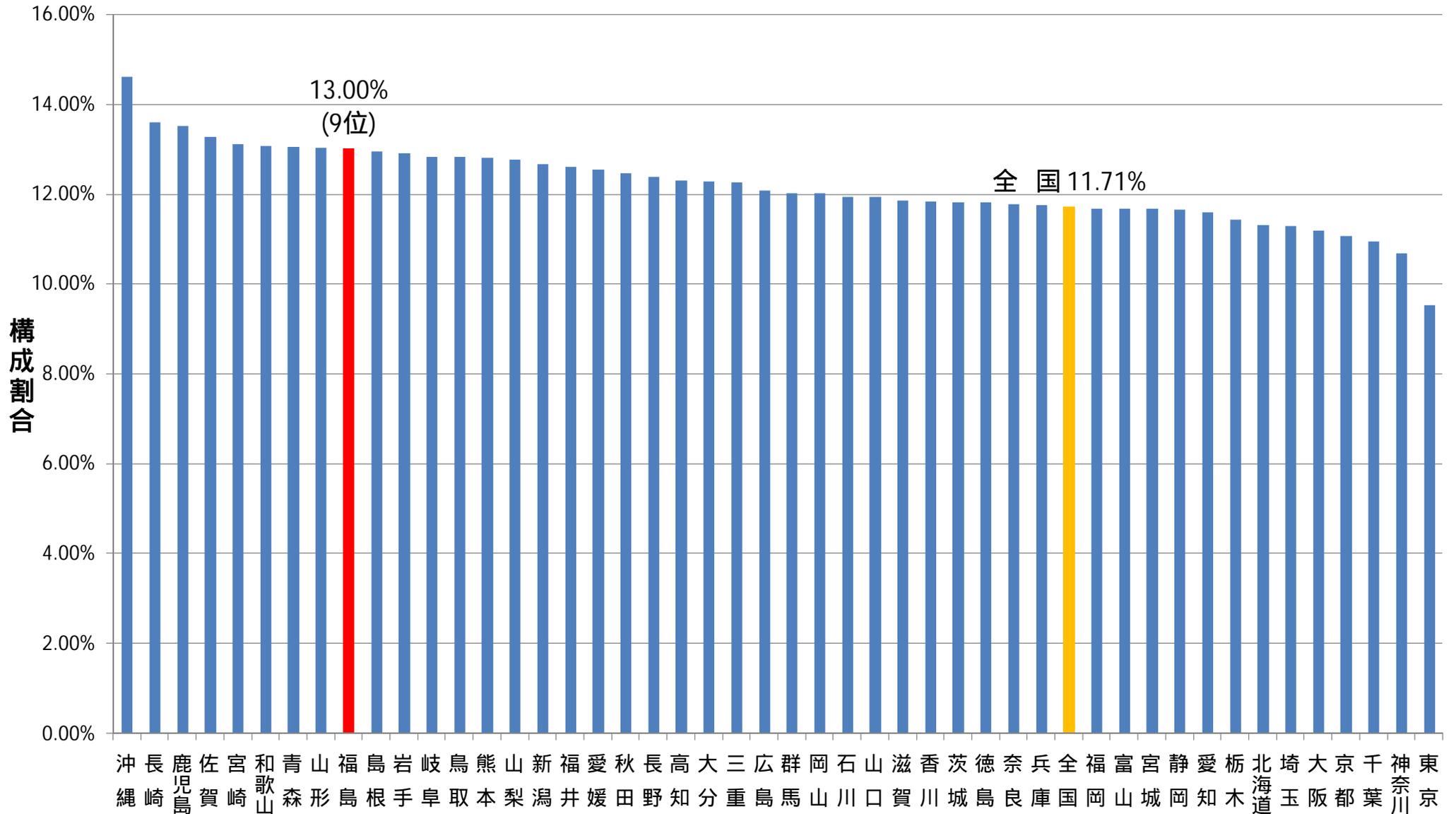


出典：『統計業務システム』（協会けんぽ）

(5) 10代(10～19才)加入者割合及び70才以上加入者割合

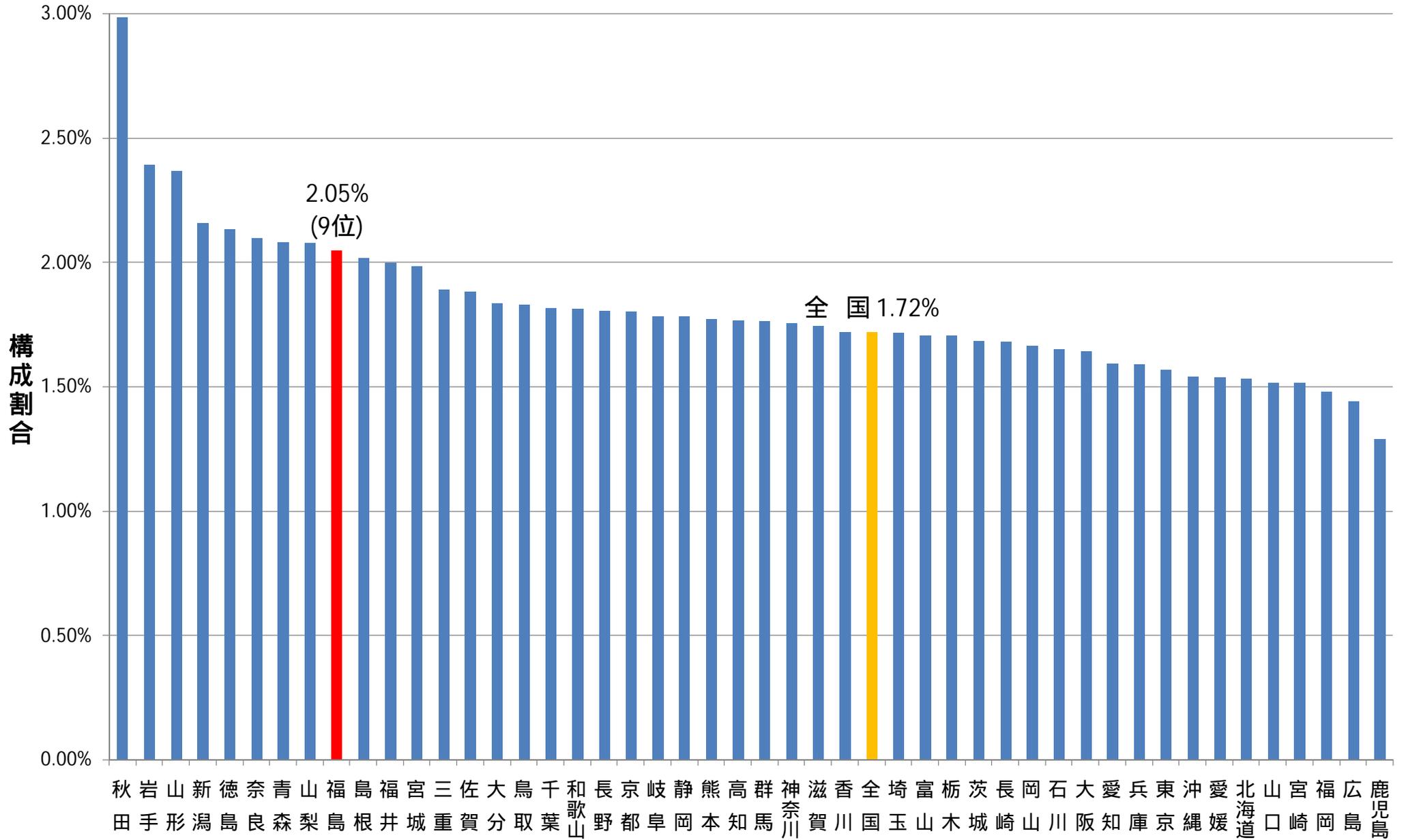
年少加入者割合は全国23位及び老齢加入者割合は全国33位であったが、10代(10～19才)の加入者割合及び70才以上の加入者割合に限ってみると、それぞれの全国順位は9位に上昇する。

図表2-5-1【参考】10～19才加入者割合



出典：『統計業務システム』(協会けんぽ)

図表2-5-2 【参考】70才以上加入者割合

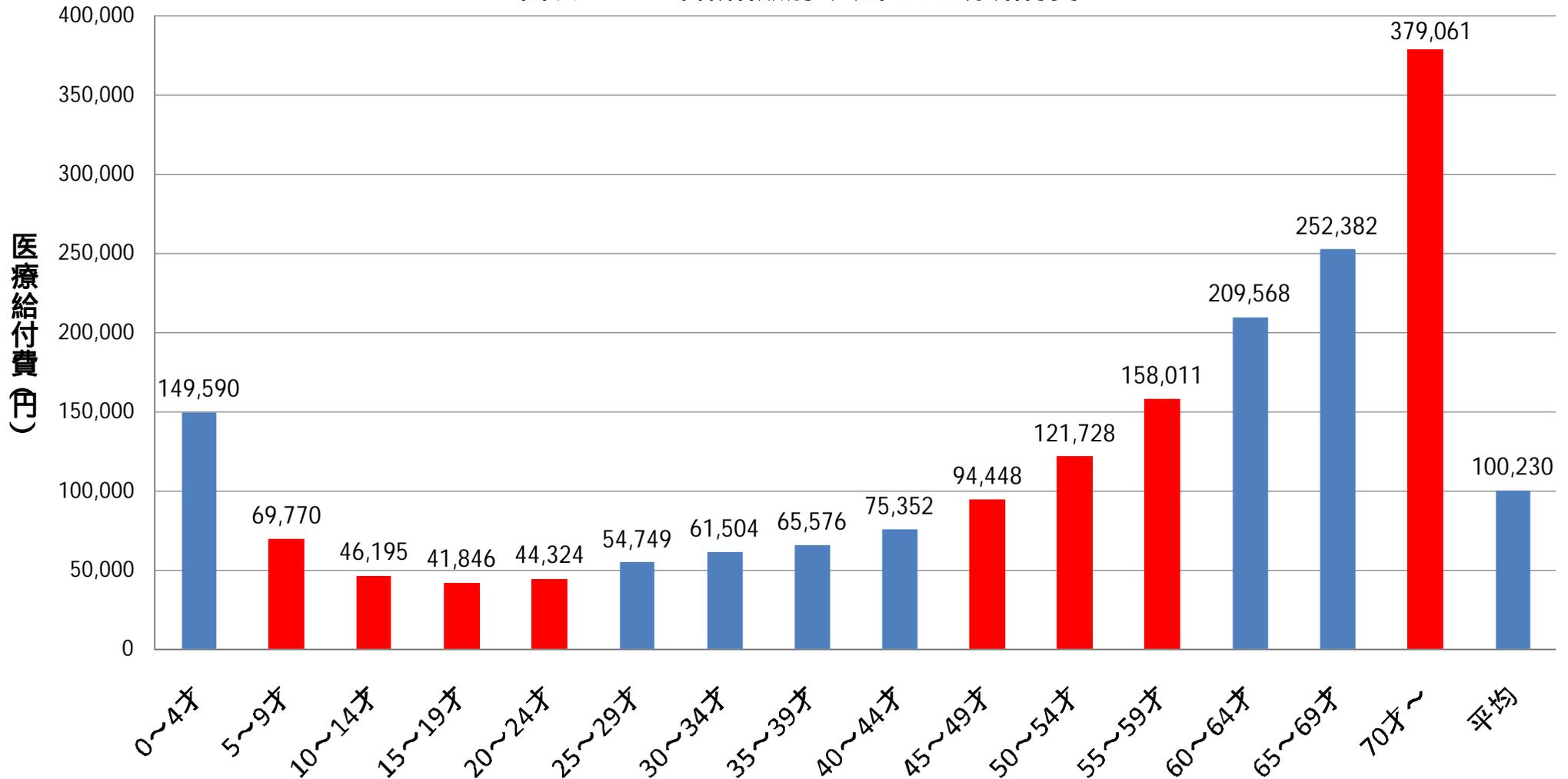


出典：『統計業務システム』（協会けんぽ）

(6) 【参考】年齢階級別加入者1人当たり医療給付費(平成21年度見込み)

平成19年度の医療費を基に算定した年齢階級別加入者1人当たり医療給付費は図表2-6-1のとおりである。赤い柱は福島支部加入者の構成割合が全国平均を上回っている年齢階級を示している。

図表2-6-1 年齢階級別1人当たり医療給付費



出典：『都道府県単位保険料率の算定に係る基礎データ』(協会けんぽ)

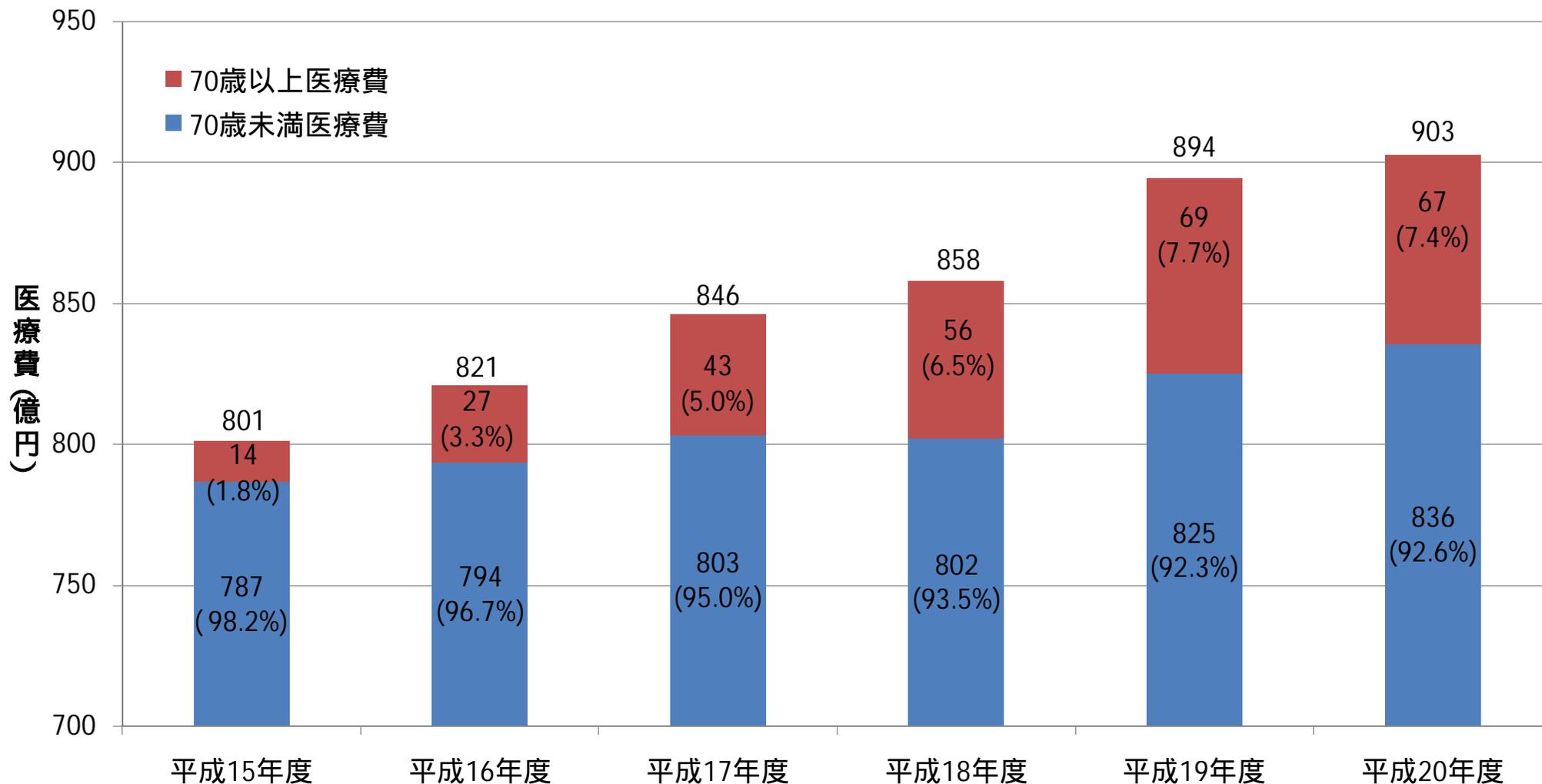
- ・協会システムにおいて平成19年度のレセプトデータから集計し、これに後期高齢者医療制度の導入や自己負担軽減の対象年齢拡大の影響を考慮して補正したものに、平成21年度予算案の全国計の数値との比率を乗じて算定。
- ・医療給付費については、療養の給付費のほか、療養費、移送費を含み、国庫補助金、特別の事業に係る額を控除している。

3.協会けんぽ福島支部医療費の推移

(1) 福島支部医療費の推移

平成20年度における協会けんぽ福島支部の医療費は902億66百万円であった。70歳以上の加入者の医療費は67億円となっており、全体の7.4%を占めている。

図表3-1-1 福島支部医療費の推移



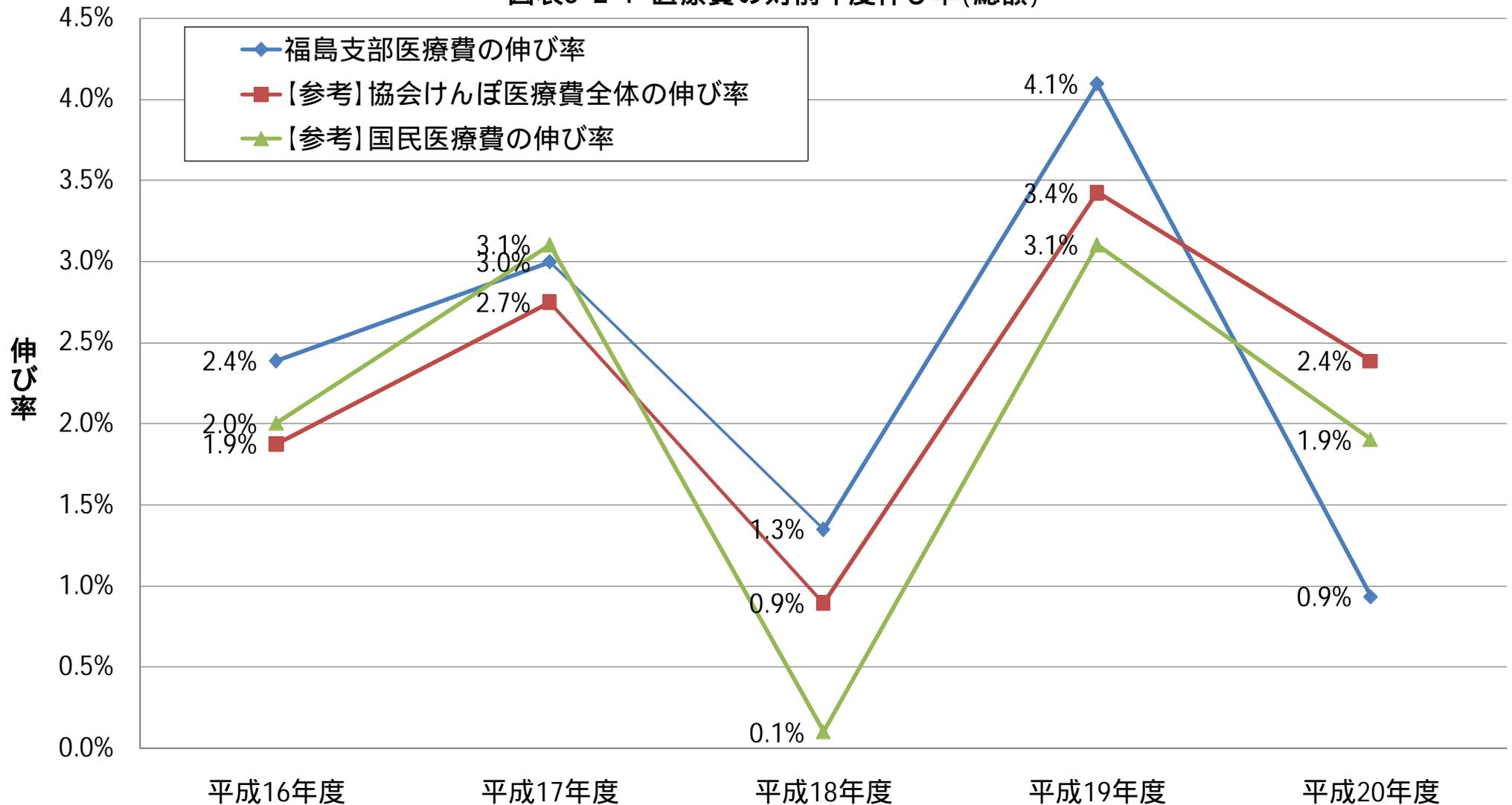
出典：『事業所所在地別医療費(現物給付)データ』(協会けんぽ)

(2) 医療費の対前年度伸び率

医療費総額伸び率の推移

協会けんぽ福島支部医療費は平成15年度以降増加しており、平成20年度の伸び率は0.9%であった。伸び率は、国民医療費とほぼ同じ動きをしている。

図表3-2-1 医療費の対前年度伸び率(総額)

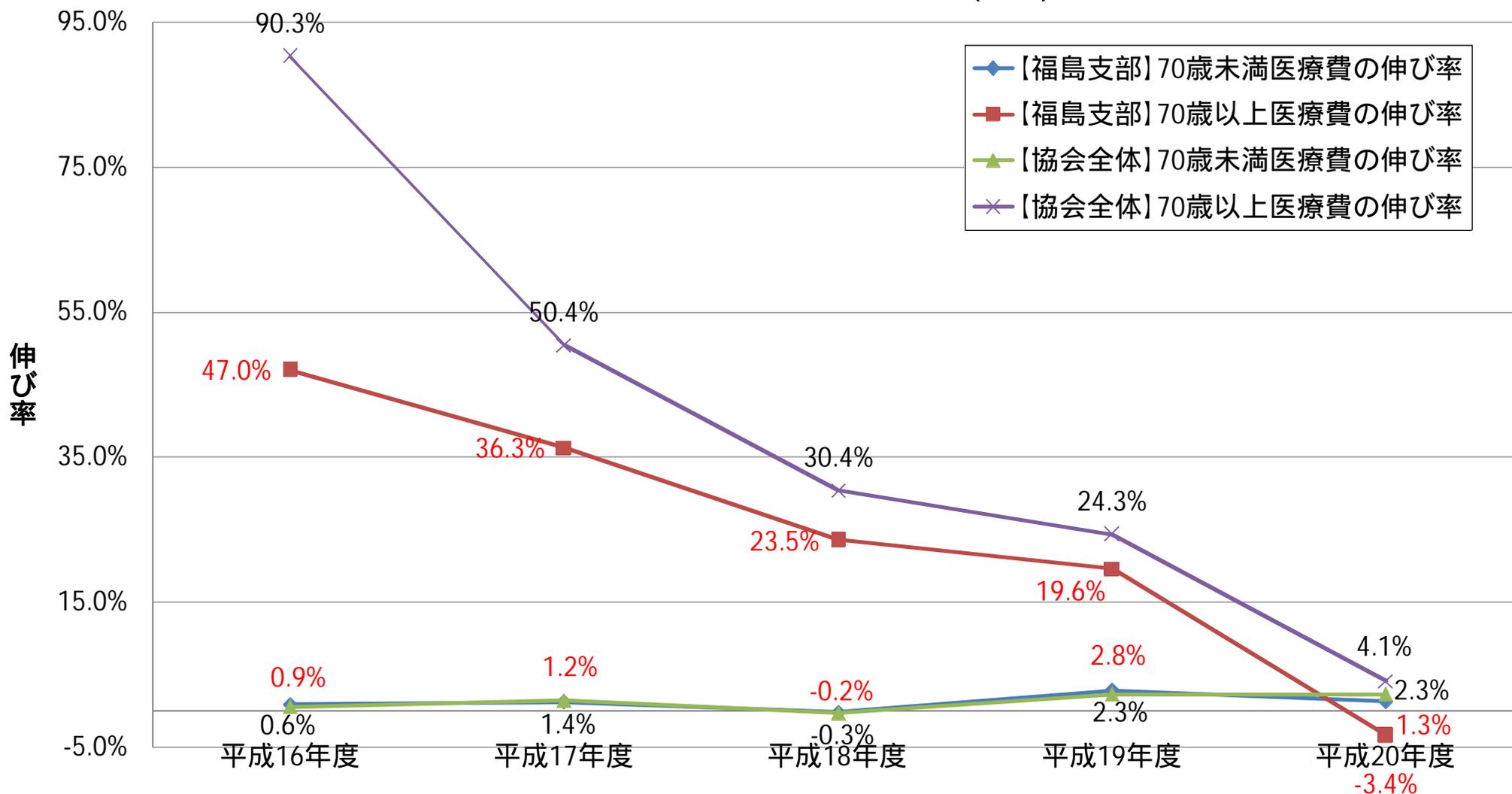


出典：『事業所所在地別医療費(現物給付)データ』(協会けんぽ)、『平成20年度 医療費の動向』(厚生労働省)

内訳

医療費伸び率の内訳は、70歳以上加入者の医療費の伸び率が高い。しかし、平成20年度における70歳以上加入者の医療費の伸び率は - 3.4%に減少した。これは、平成20年度から始まった後期高齢者医療制度による影響と思われる。

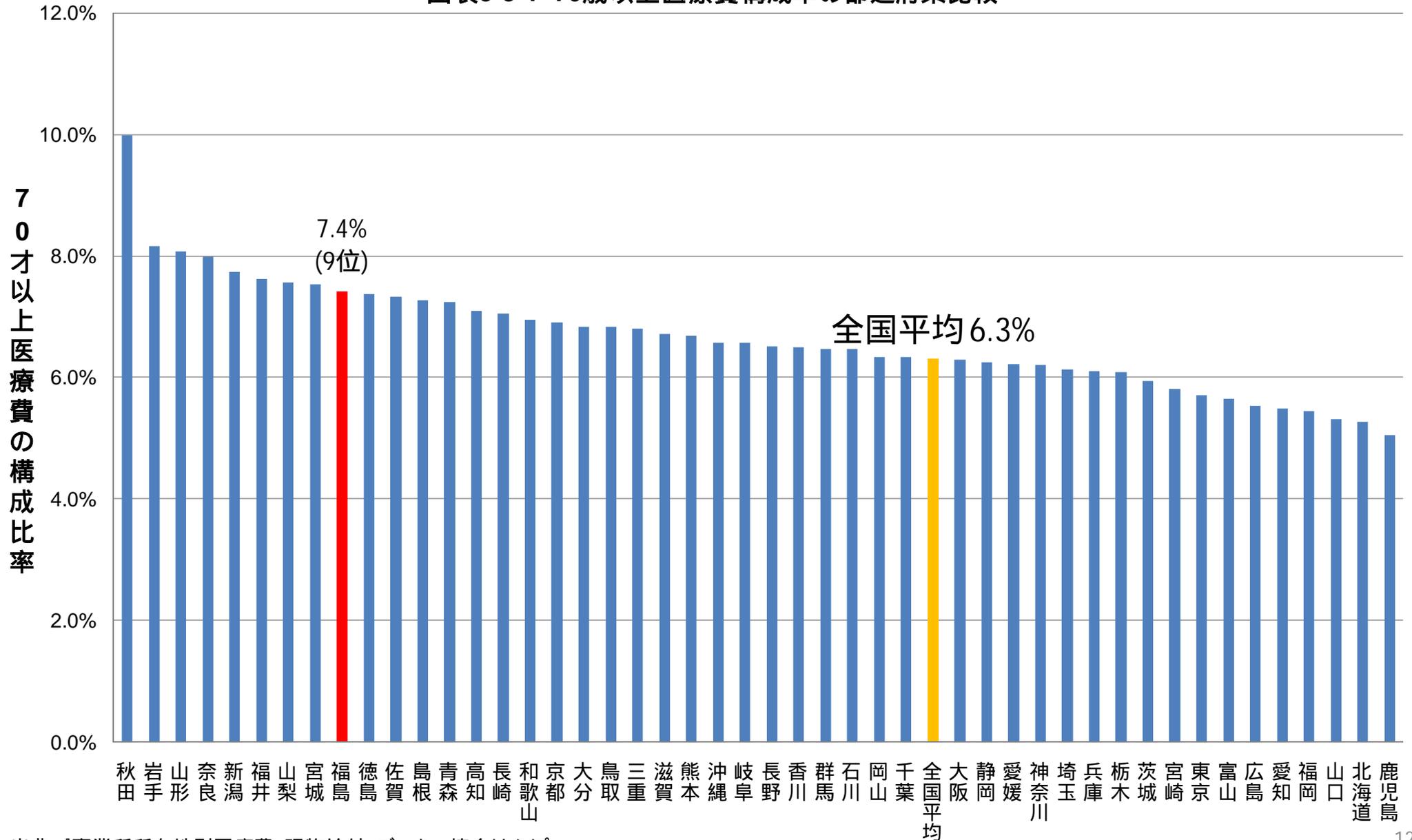
図表3-2-2 医療費の対前年度伸び率(内訳)



(3) 70才以上加入者医療費の構成割合

平成20年度の福島支部医療費に占める70才以上加入者医療費の割合は7.4%となっており、全国9位である。

図表3-3-1 70歳以上医療費構成率の都道府県比較



出典：『事業所所在地別医療費(現物給付)データ』(協会けんぽ)

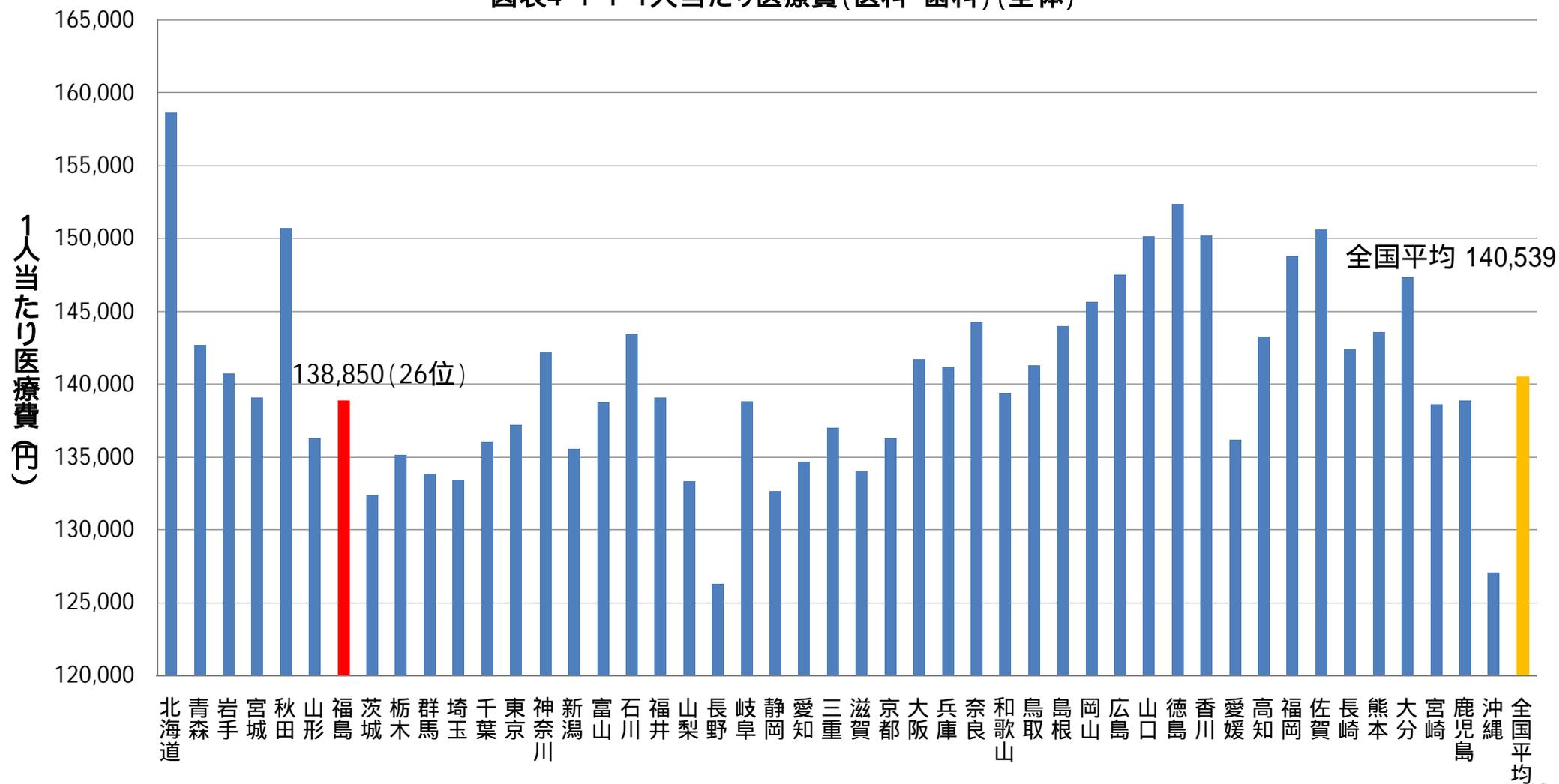
4.医療費諸率の他支部との比較

(1) 1人当たり医療費

全体

平成19年度における福島支部の1人当たり医療費は138,850円で、全国26位である。

図表4-1-1 1人当たり医療費(医科・歯科)(全体)

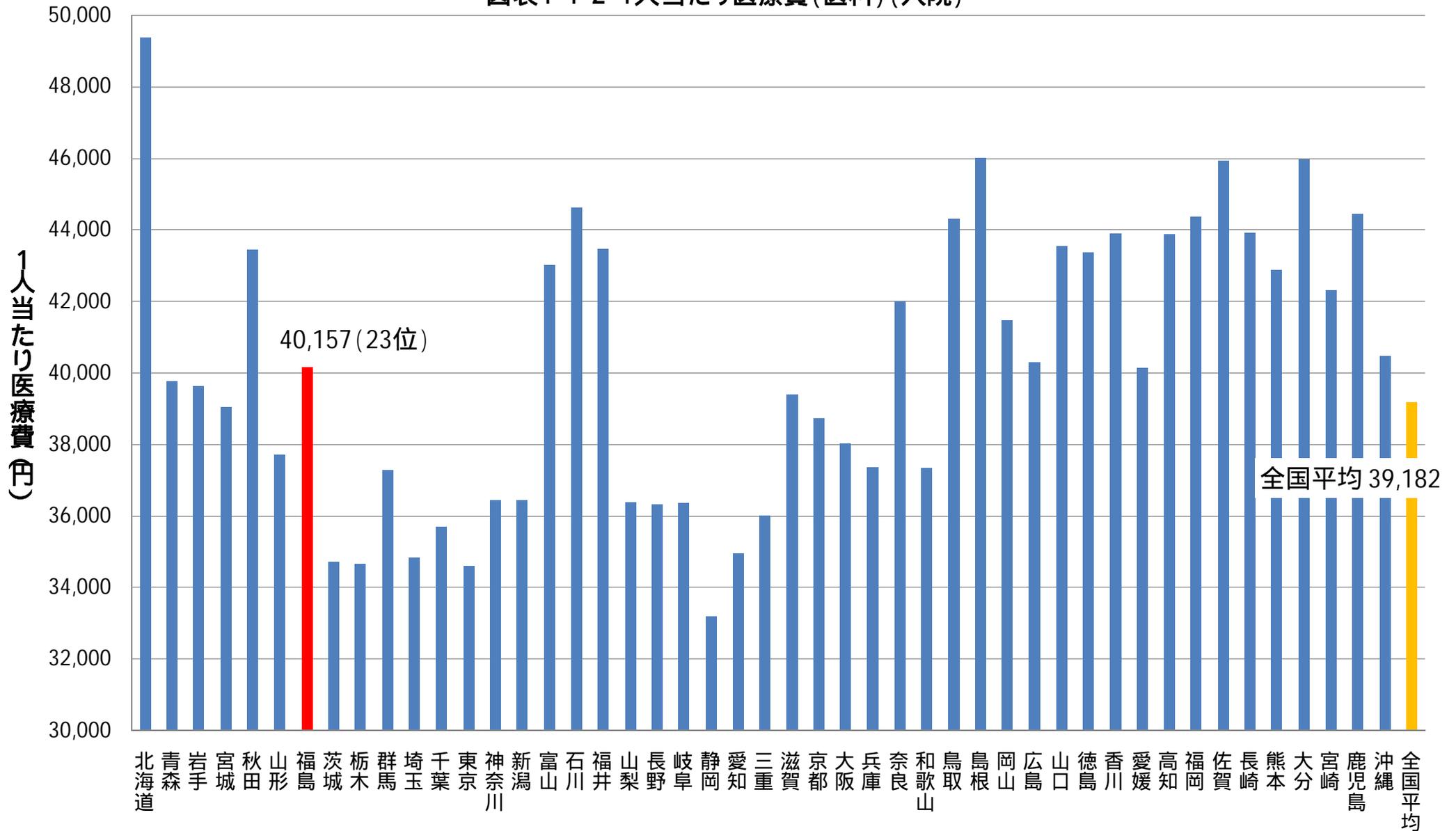


出典:『医療費分析ツール・平成19年度データ』(協会けんぽ)

入院

平成19年度における福島支部の1人当たり医療費は40,157円で、全国23位である。

図表4-1-2 1人当たり医療費(医科)(入院)

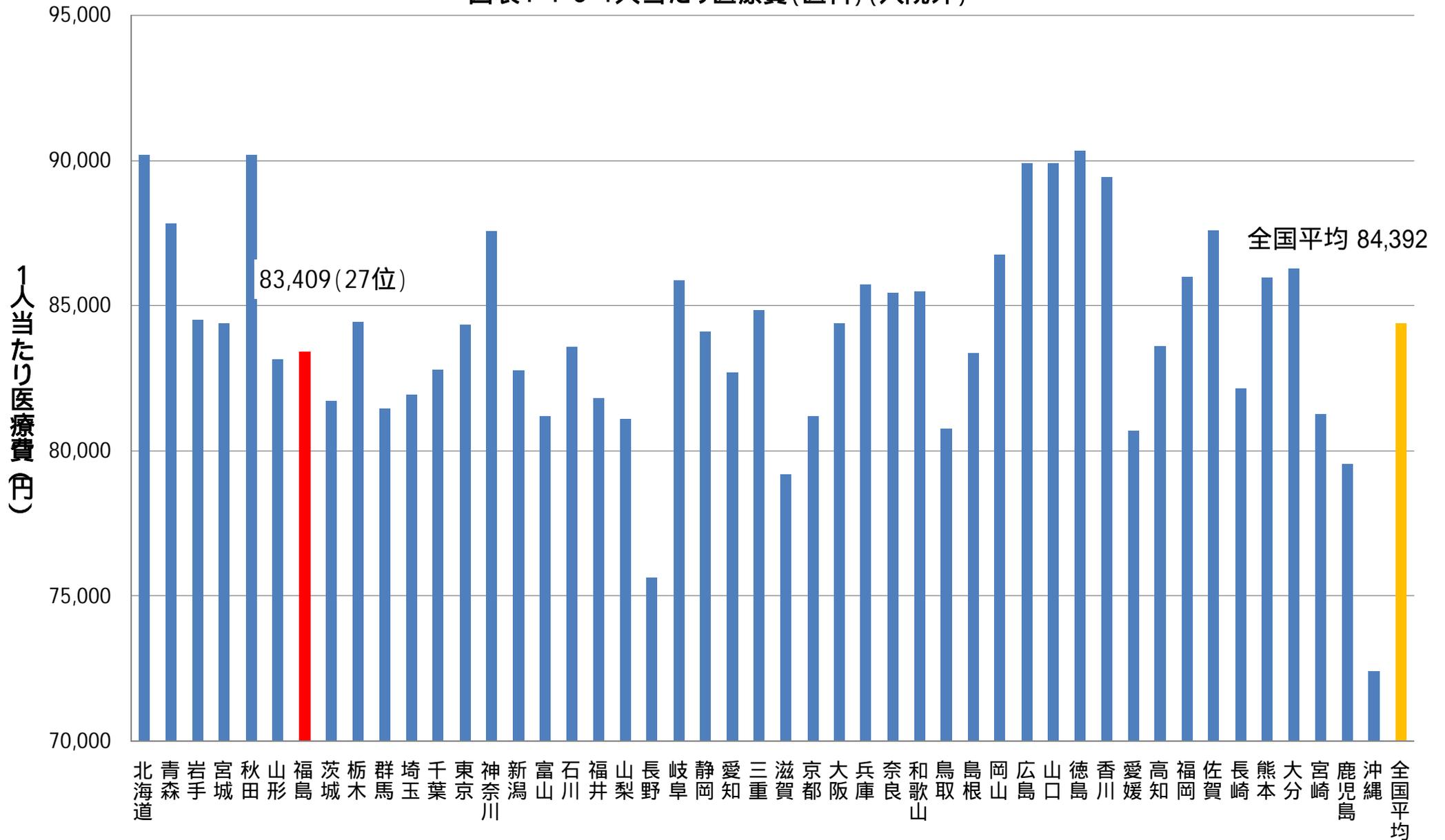


出典:『医療費分析ツール・平成19年度データ』(協会けんぽ)

入院外

平成19年度における福島支部の1人当たり医療費は83,409円で、全国27位である。

図表4-1-3 1人当たり医療費(医科)(入院外)

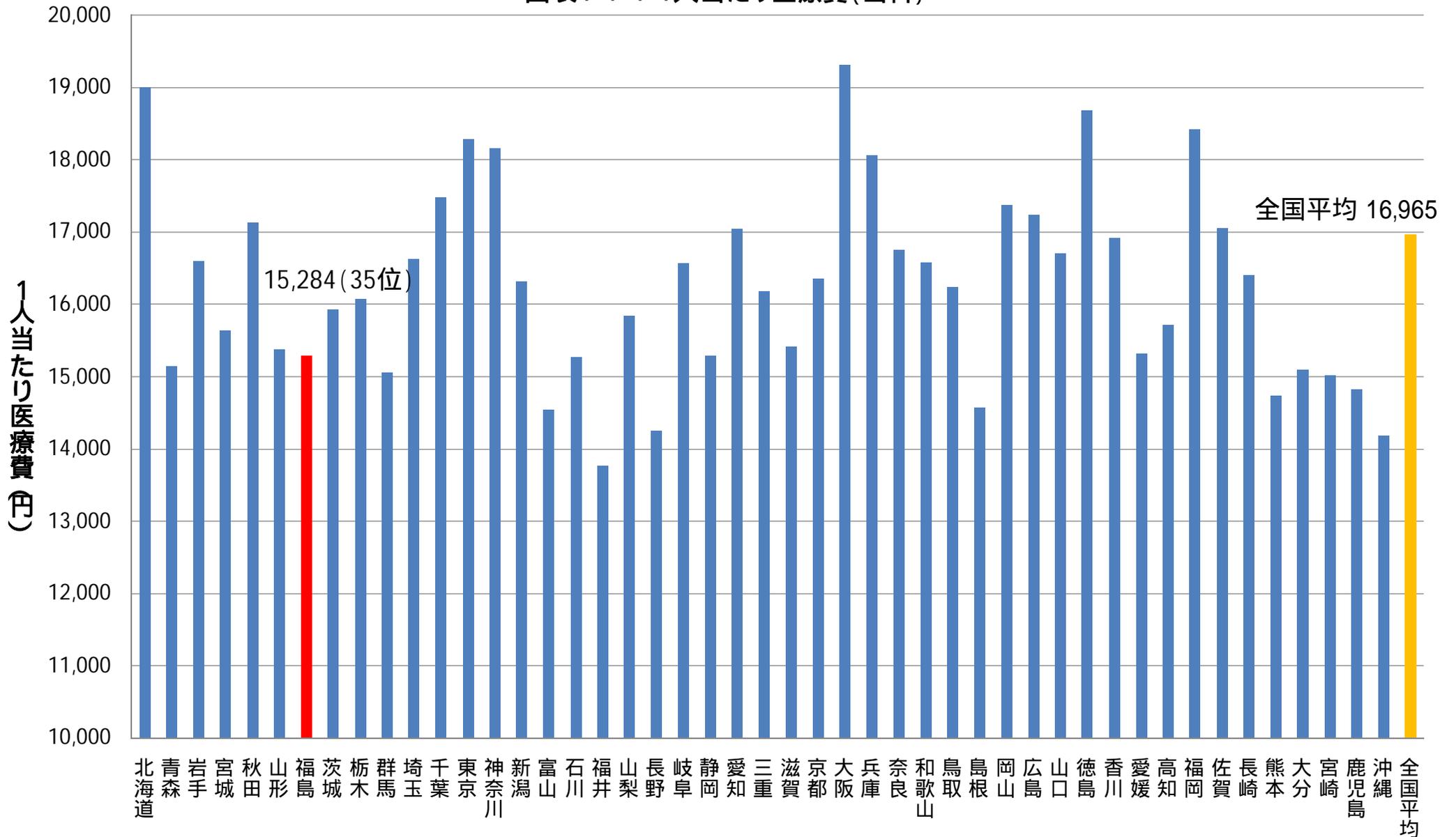


出典：『医療費分析ツール・平成19年度データ』（協会けんぽ）

歯科

平成19年度における福島支部の1人当たり医療費は15,284円で、全国35位である。

図表4-1-4 1人当たり医療費(歯科)

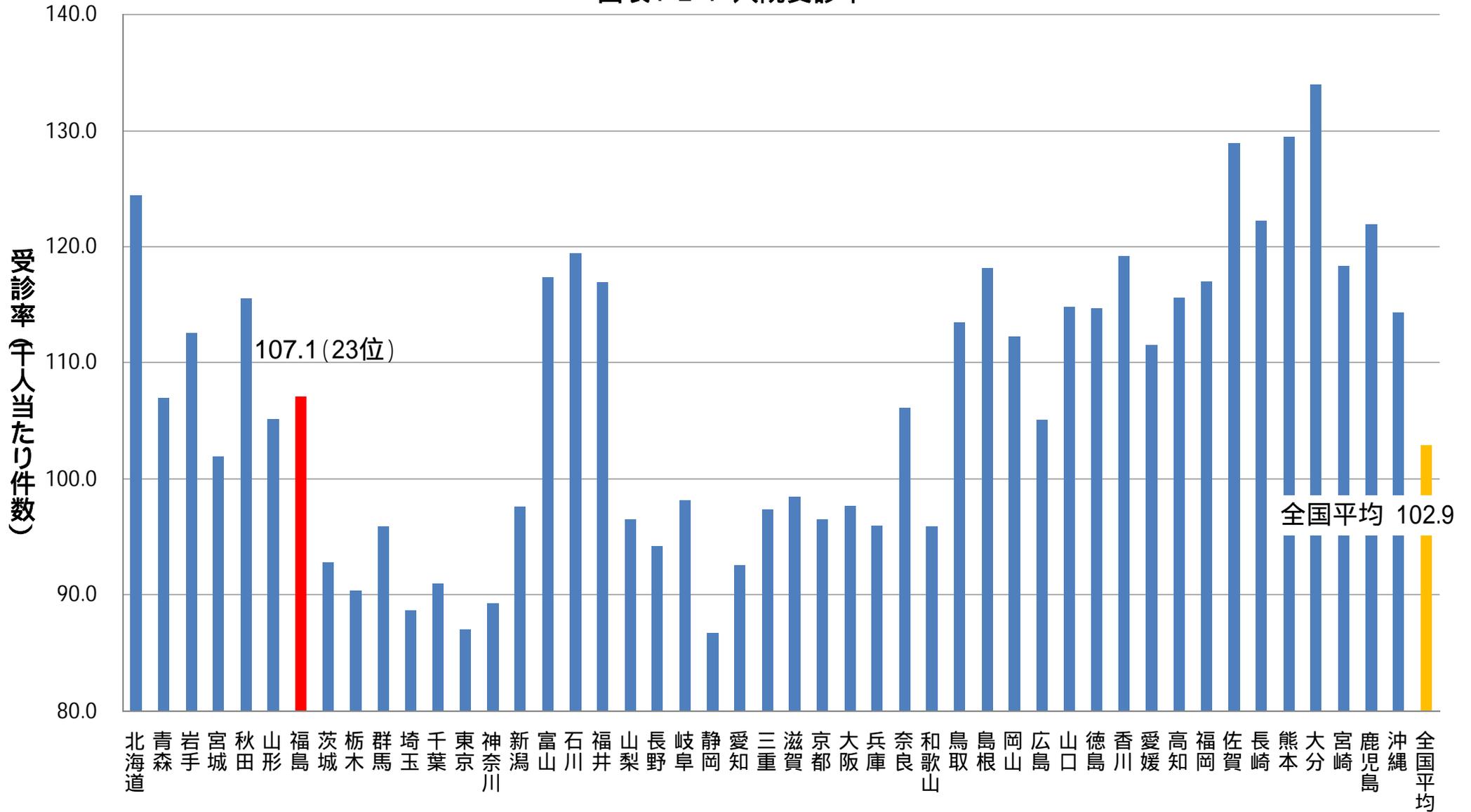


出典：『医療費分析ツール・平成19年度データ』（協会けんぽ）

(2) 受診率
入院

平成19年度における福島支部の入院受診率(千人当たり件数)は107.1件で、全国23位である。

図表4-2-1 入院受診率

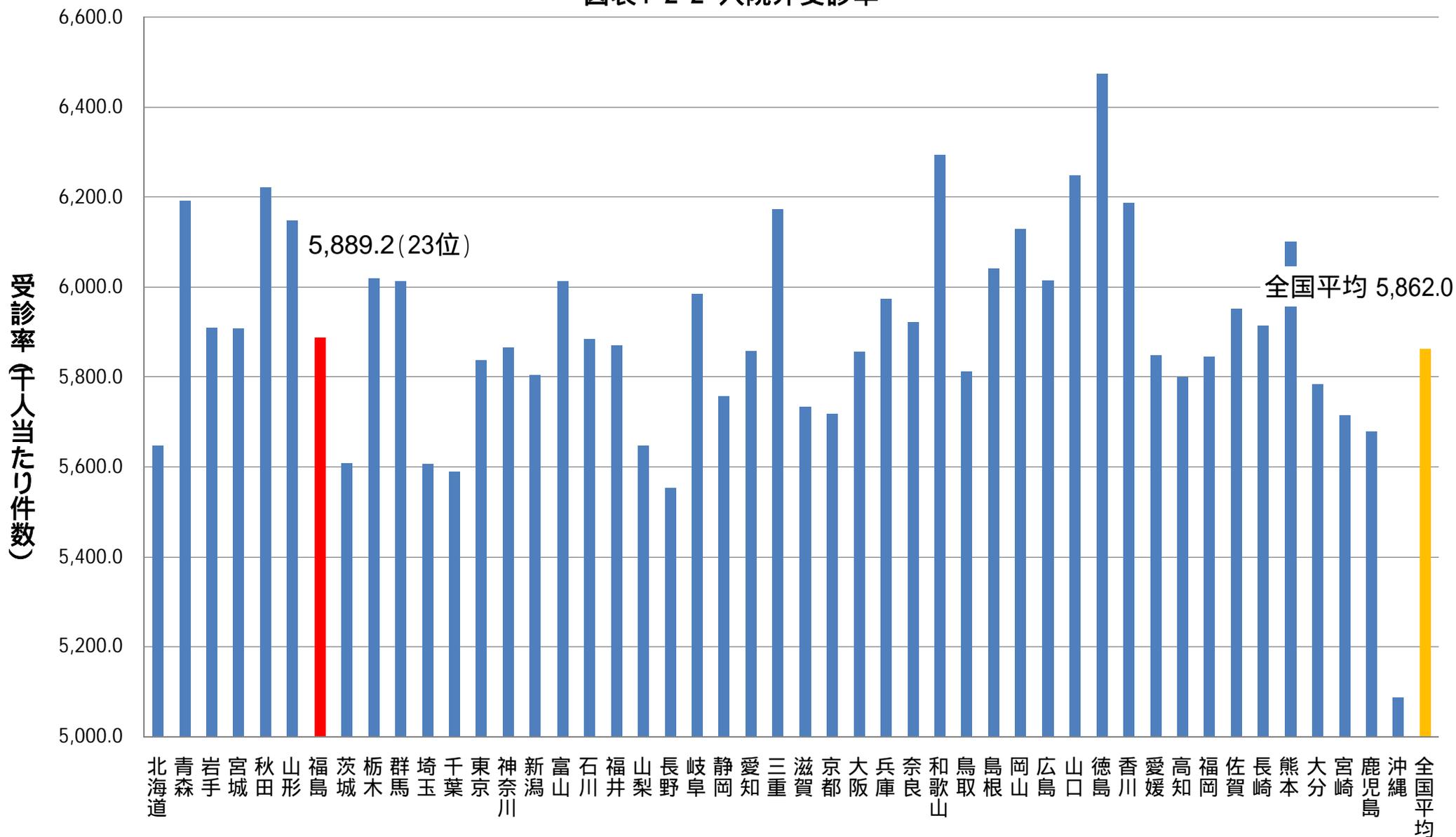


出典:『医療費分析ツール・平成19年度データ』(協会けんぽ)

入院外

平成19年度における福島支部の入院外受診率(千人当たり件数)は5,889.2件で、全国23位である。

図表4-2-2 入院外受診率



出典:『医療費分析ツール・平成19年度データ』(協会けんぽ)

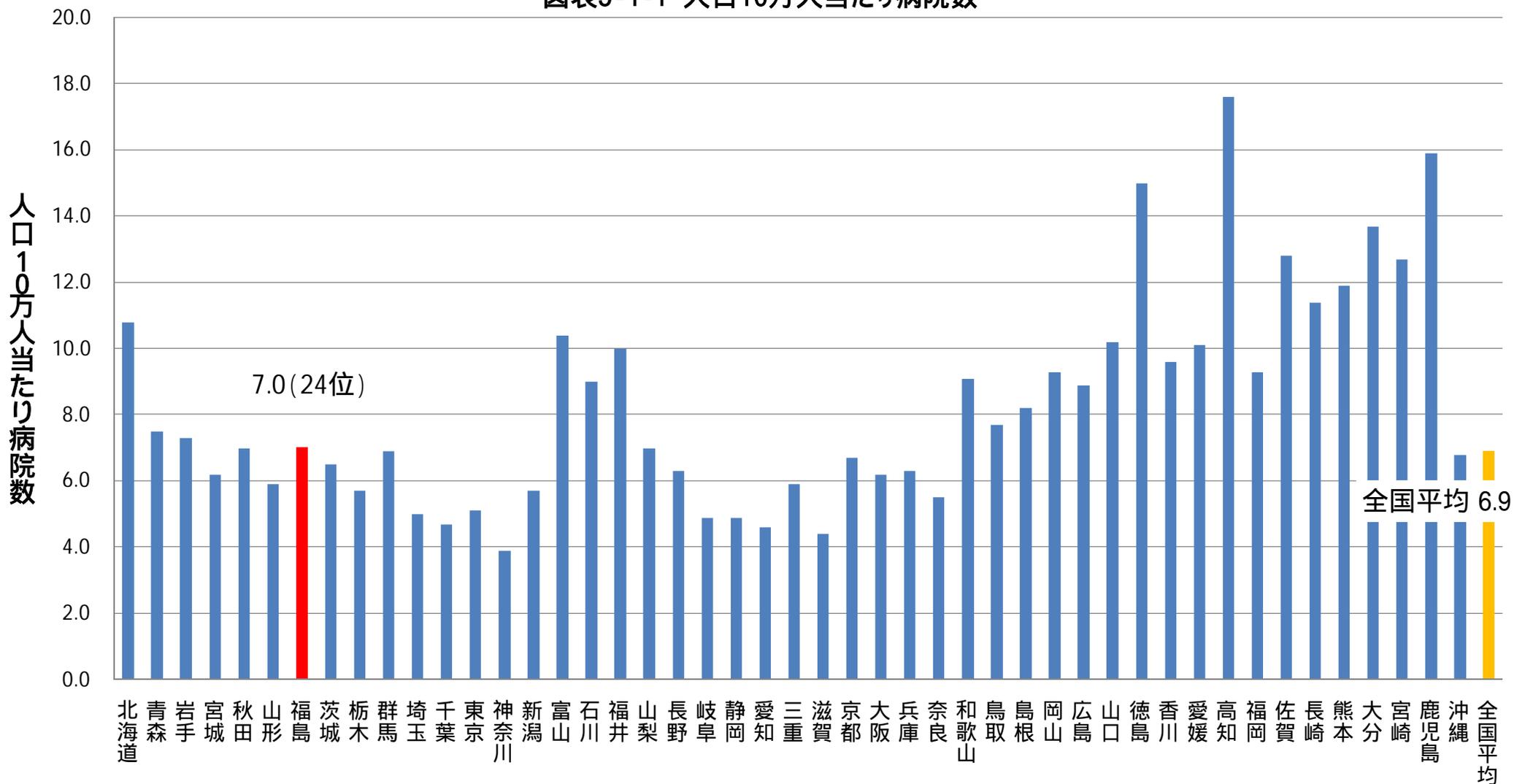
5.医療供給体制の状況

(1) 医療施設数

病院数

人口10万人当たりの病院数をみると、7.0施設で、全国24位である。

図表5-1-1 人口10万人当たり病院数

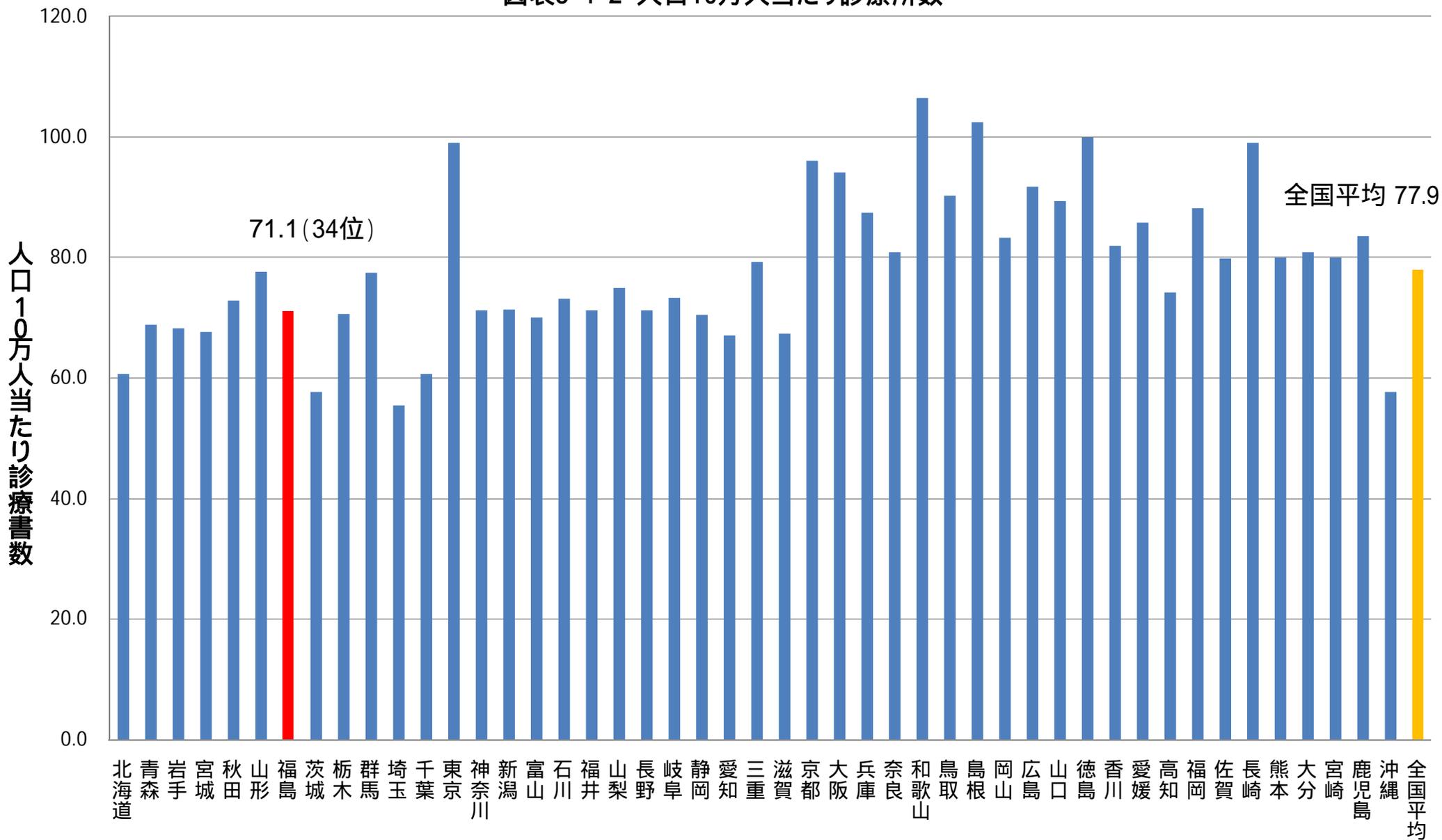


出典：『平成19年度・医療施設調査』（厚生労働省）

診療所数

人口10万人当たりの診療所数を見ると、71.1施設で、全国34位である。

図表5-1-2 人口10万人当たり診療所数

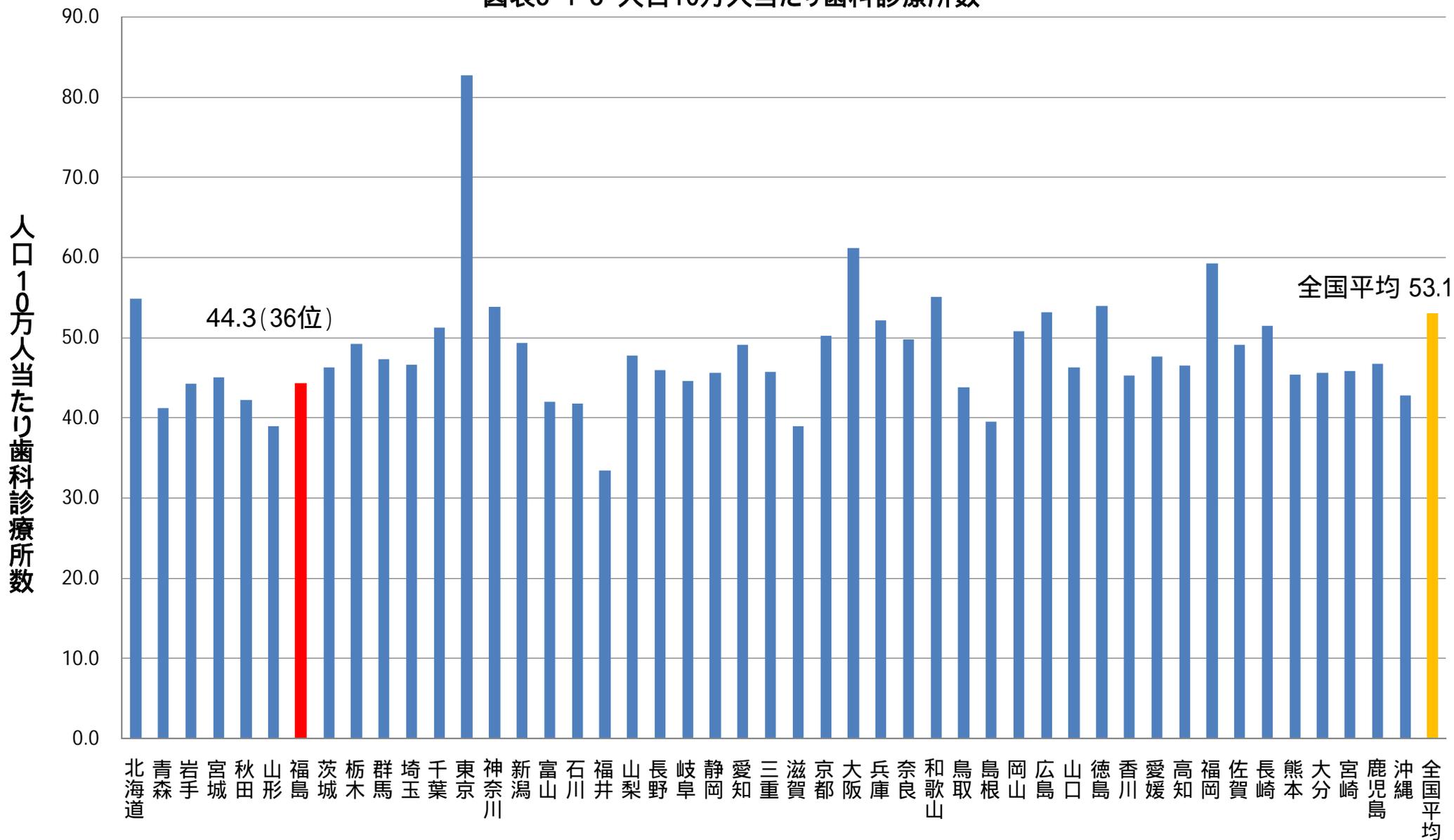


出典：『平成19年度・医療施設調査』（厚生労働省）

歯科診療所数

人口10万人当たりの診療所数を見ると、44.3施設で、全国36位である。

図表5-1-3 人口10万人当たり歯科診療所数

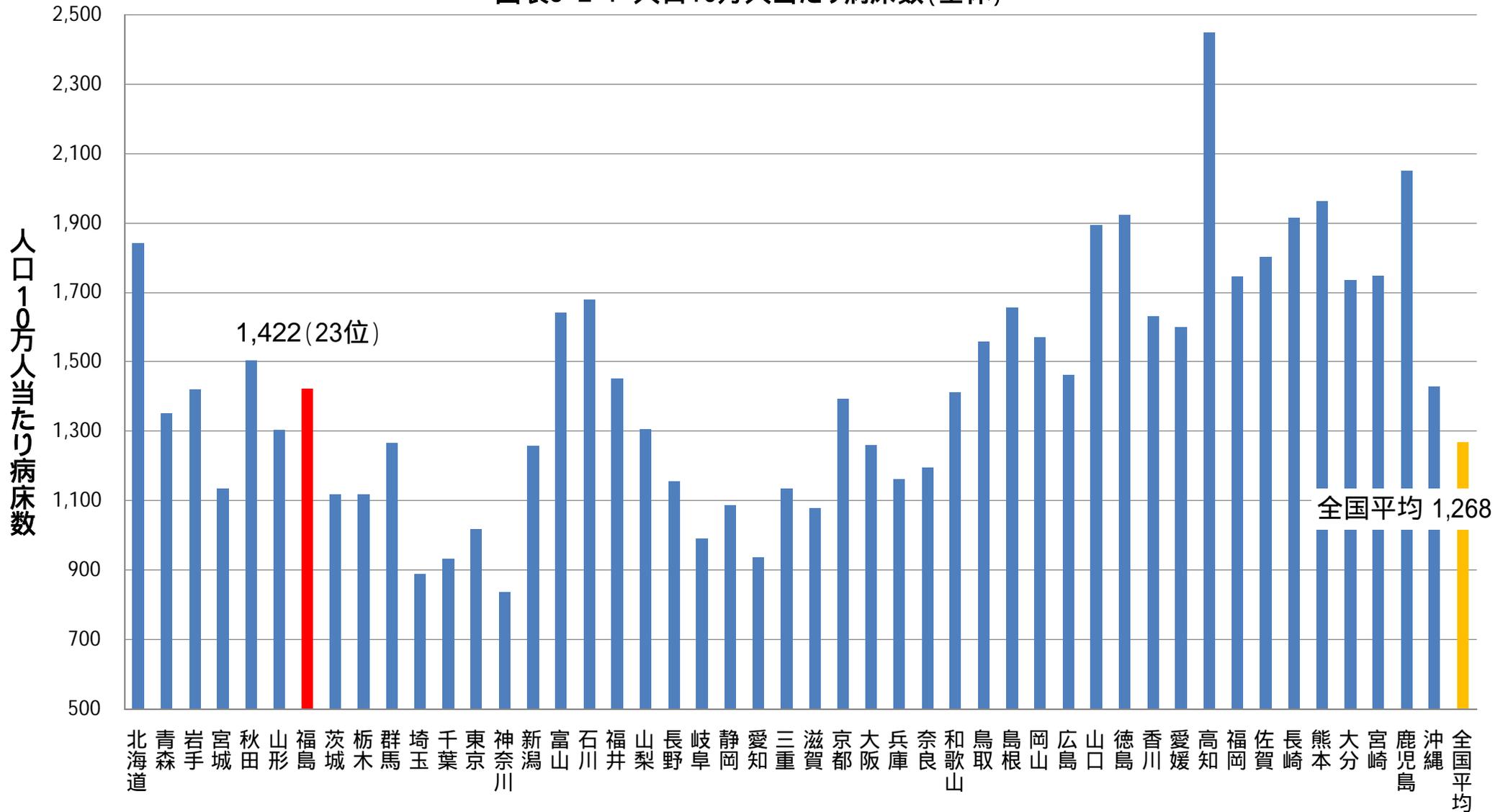


出典：『平成19年度・医療施設調査』（厚生労働省）

(2) 病床数
全体

人口10万人当たりの病床数をみると、1,422床で、全国23位である。

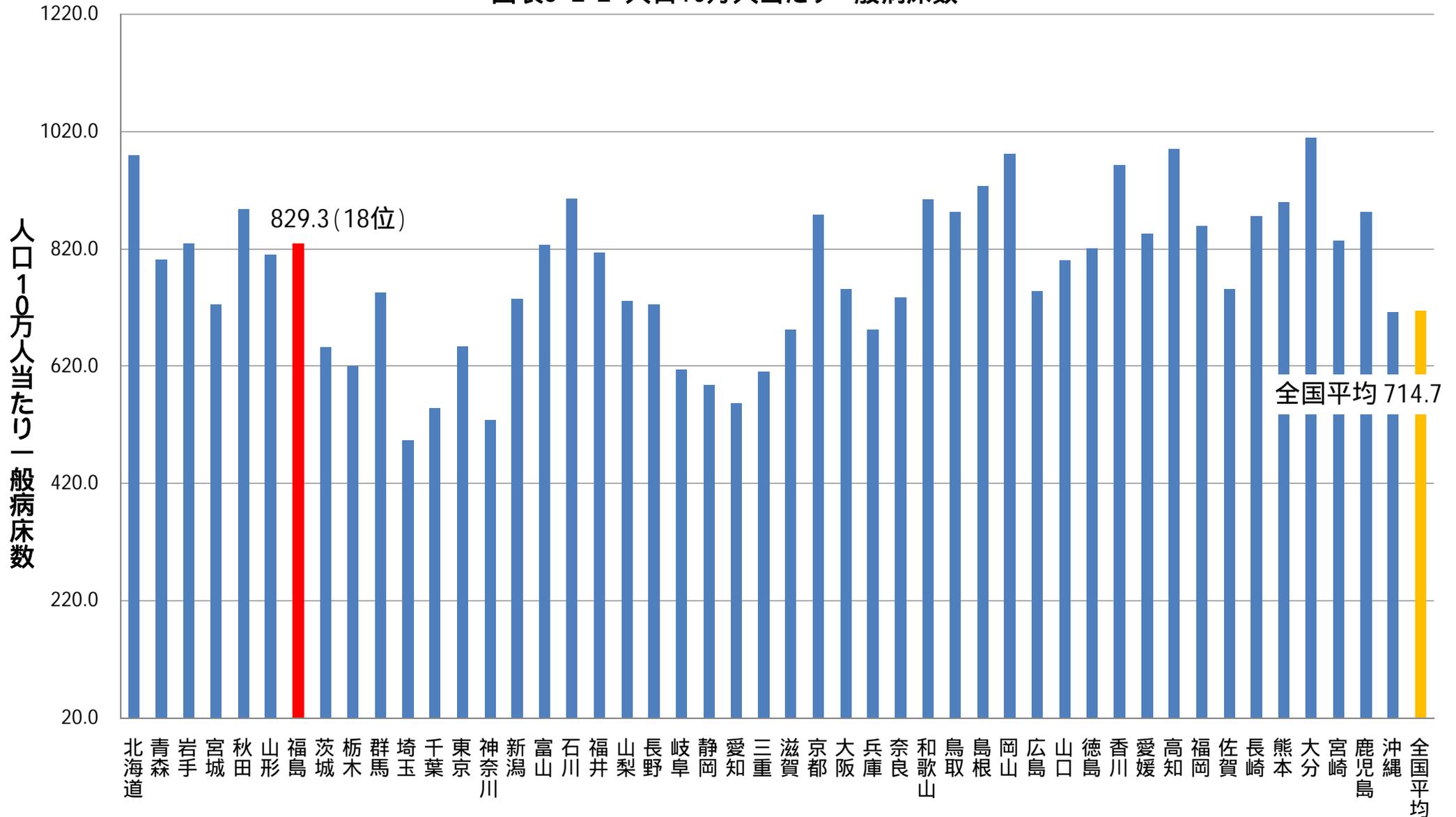
図表5-2-1 人口10万人当たり病床数(全体)



一般病床

人口10万人当たりの一般病床数をみると、829.3床で、全国18位である。

図表5-2-2 人口10万人当たり一般病床数

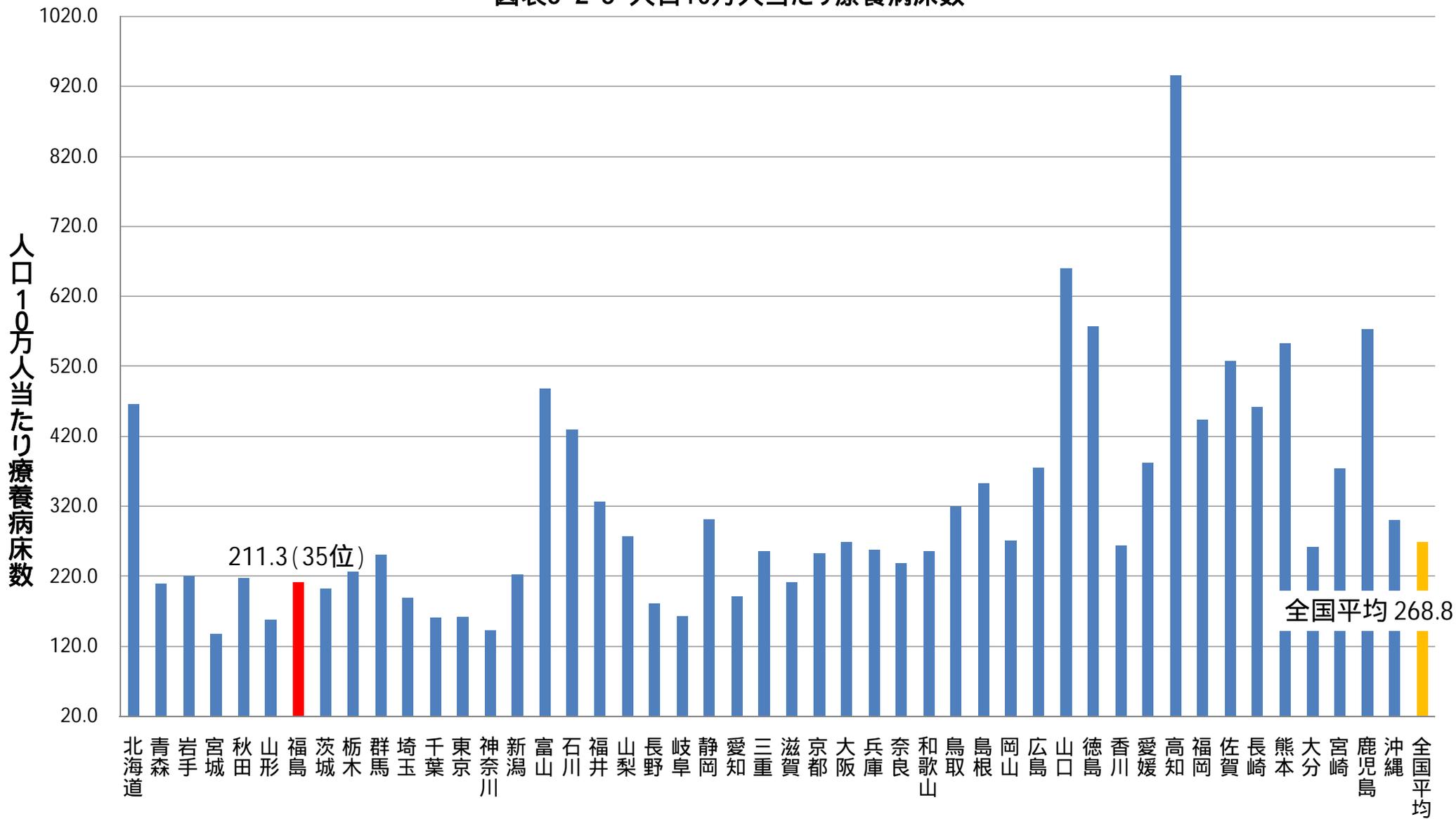


出典：『平成19年度・医療施設調査』（厚生労働省）

療養病床

人口10万人当たりの療養病床数をみると、211.3床で、全国35位である。

図表5-2-3 人口10万人当たり療養病床数



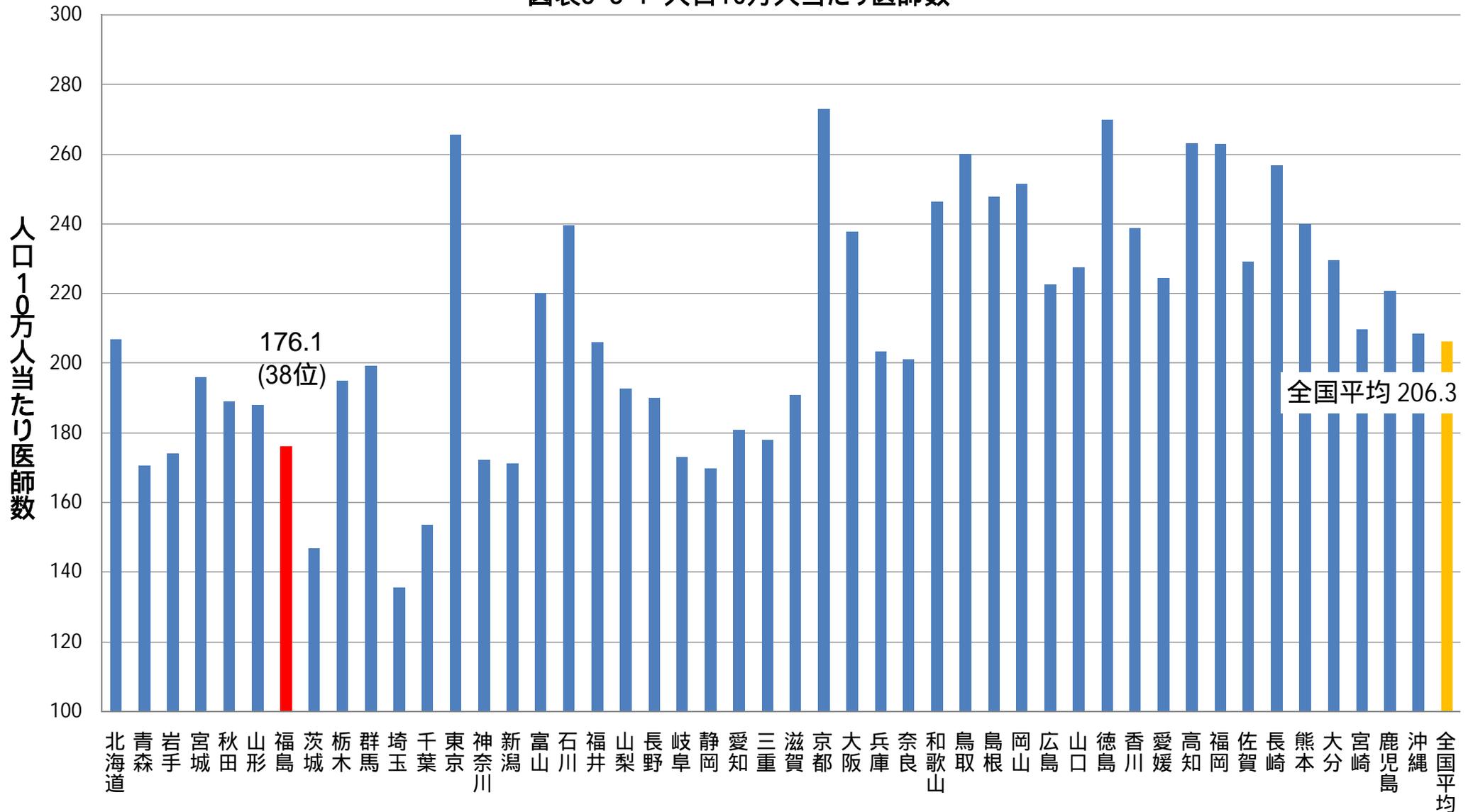
出典：『平成19年度・医療施設調査』（厚生労働省）

(3) 医療従事者数

医師数

人口10万人当たりの医師数をみると、176.1人で、全国38位である。

図表5-3-1 人口10万人当たり医師数

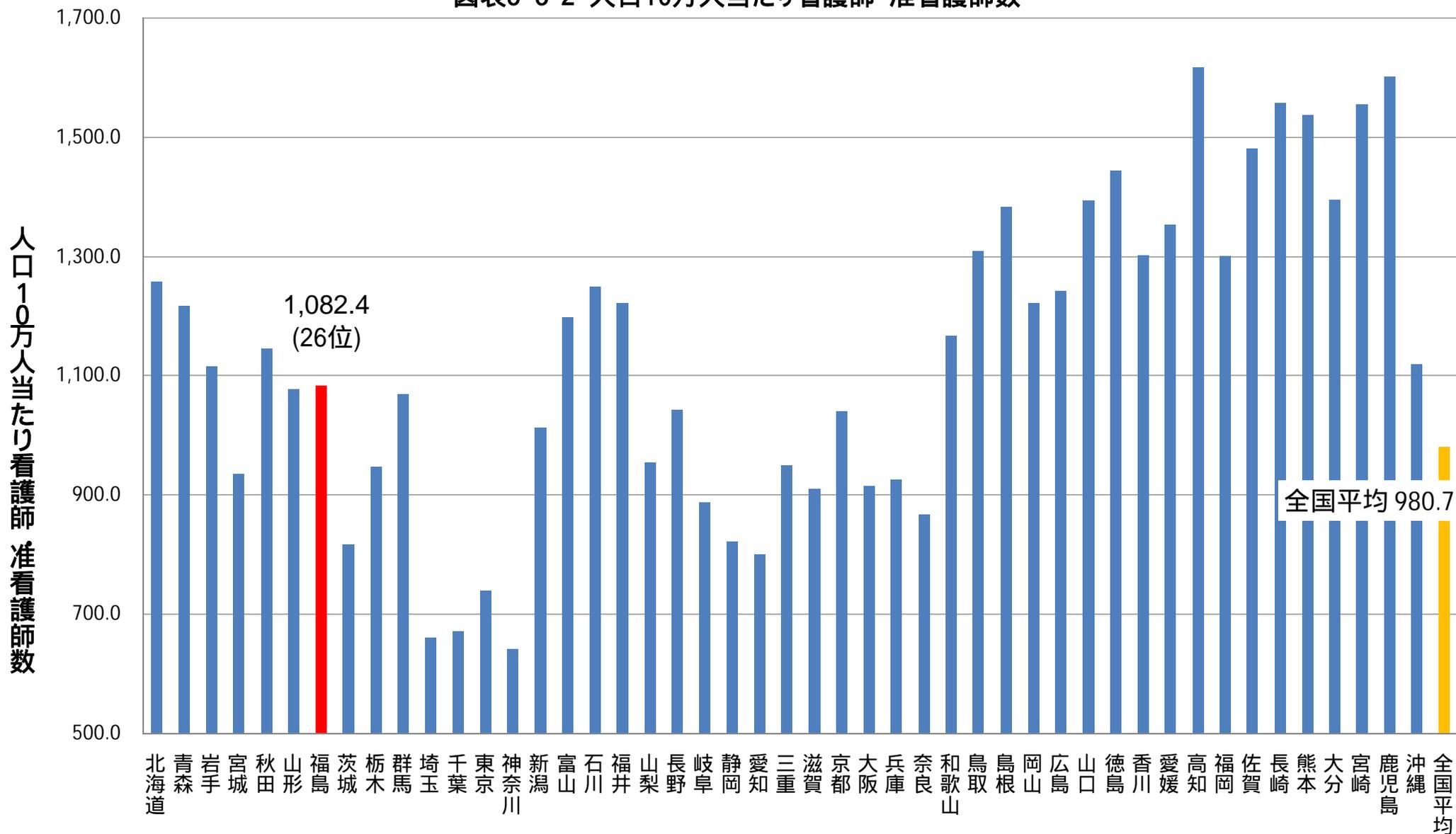


出典：『医師・歯科医師・薬剤師調査』（H18.10.1時点）（厚生労働省）

看護師数

人口10万人当たりの看護師・准看護師数を見ると、1,082.4人で、全国26位である。

図表5-3-2 人口10万人当たり看護師・准看護師数

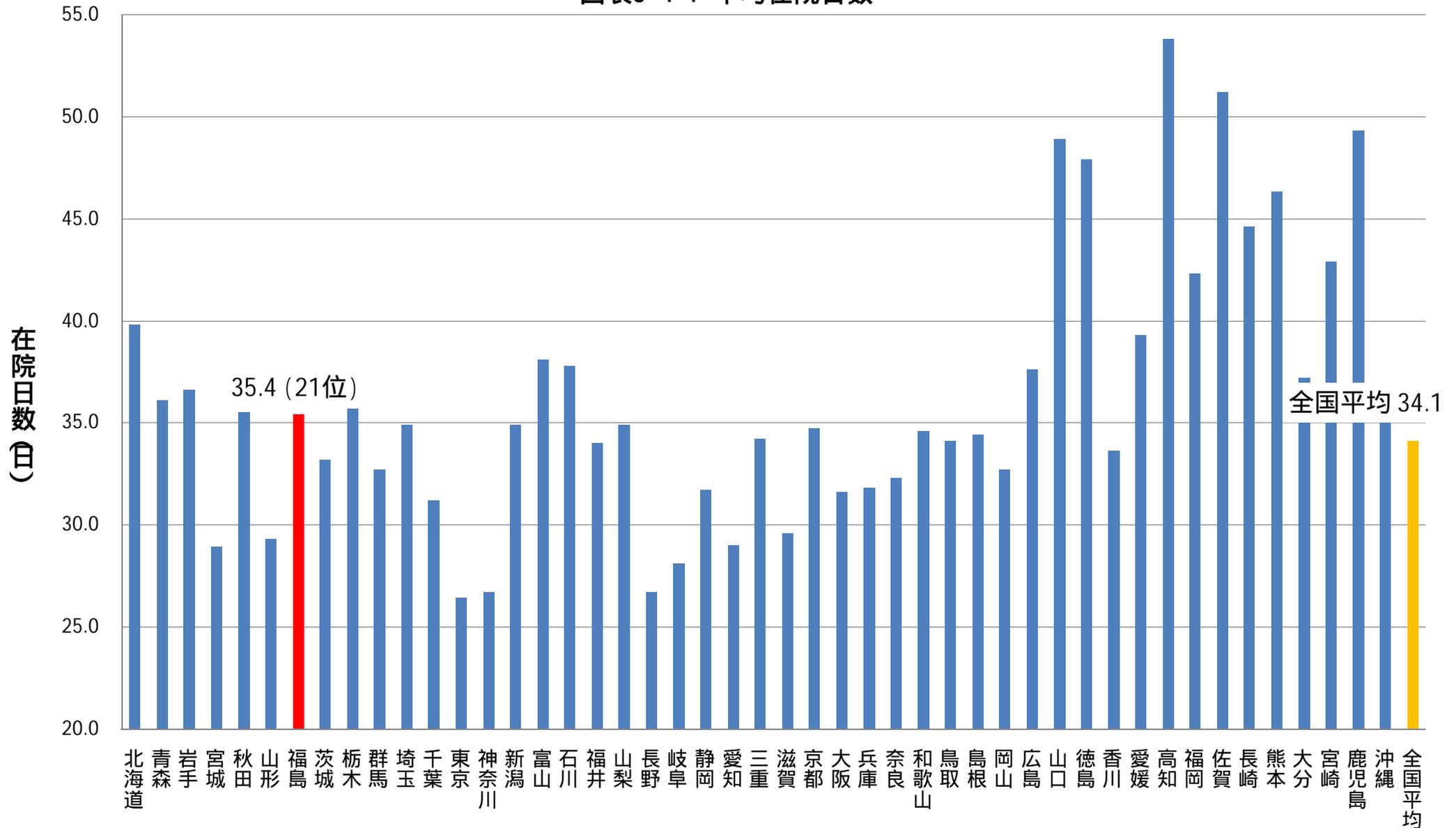


出典：『衛生行政業務報告』（H20.10.1時点）（厚生労働省）

(4) 平均在院日数

福島支部の平均在院日数をみると、35.4日で、全国21位である。

図表5-4-1 平均在院日数



6.医療費と医療供給体制の関係

1人当たり医療費と医療供給体制との関係性を見るにあたり、下記のように両者の相関係数を算出し相関分析を行なった。

(参考)相関係数について

相関係数とは

2つの変数の間で、一方が増加するにつれて、他方が直線的に増加あるいは減少する関係を表した指標のこと。一般に相関係数は r という記号で表示される。

相関係数のとる範囲は、 -1 から $+1$ の間で示され、明確な基準ではないが、以下のように判断することが多い。

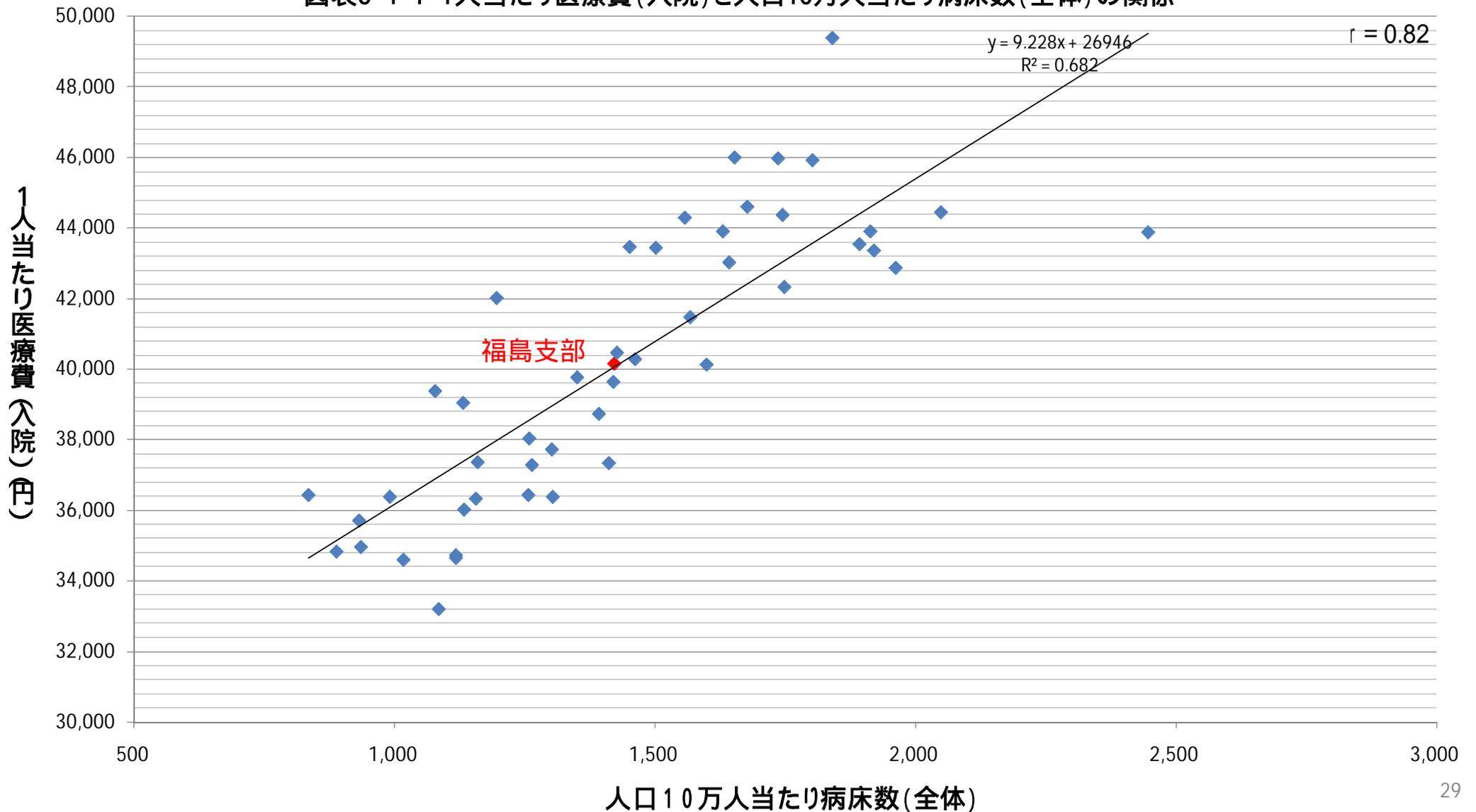
- ・ $0.0 \sim \pm 0.2$: ほとんど相関が無い(0.0 は無相関という)
- ・ $\pm 0.2 \sim \pm 0.4$: 弱い相関がある
- ・ $\pm 0.4 \sim \pm 0.7$: 比較的強い相関がある
- ・ $\pm 0.7 \sim \pm 1.0$: 強い相関がある(1.0 は完全に一直線の関係)

(1) 入院医療費と病床数の関係

入院医療費と病床数(全体)の関係

1人当たり入院医療費について各都道府県の病床数(全体)との関係を見ると、相関係数が0.82で強い相関があった。

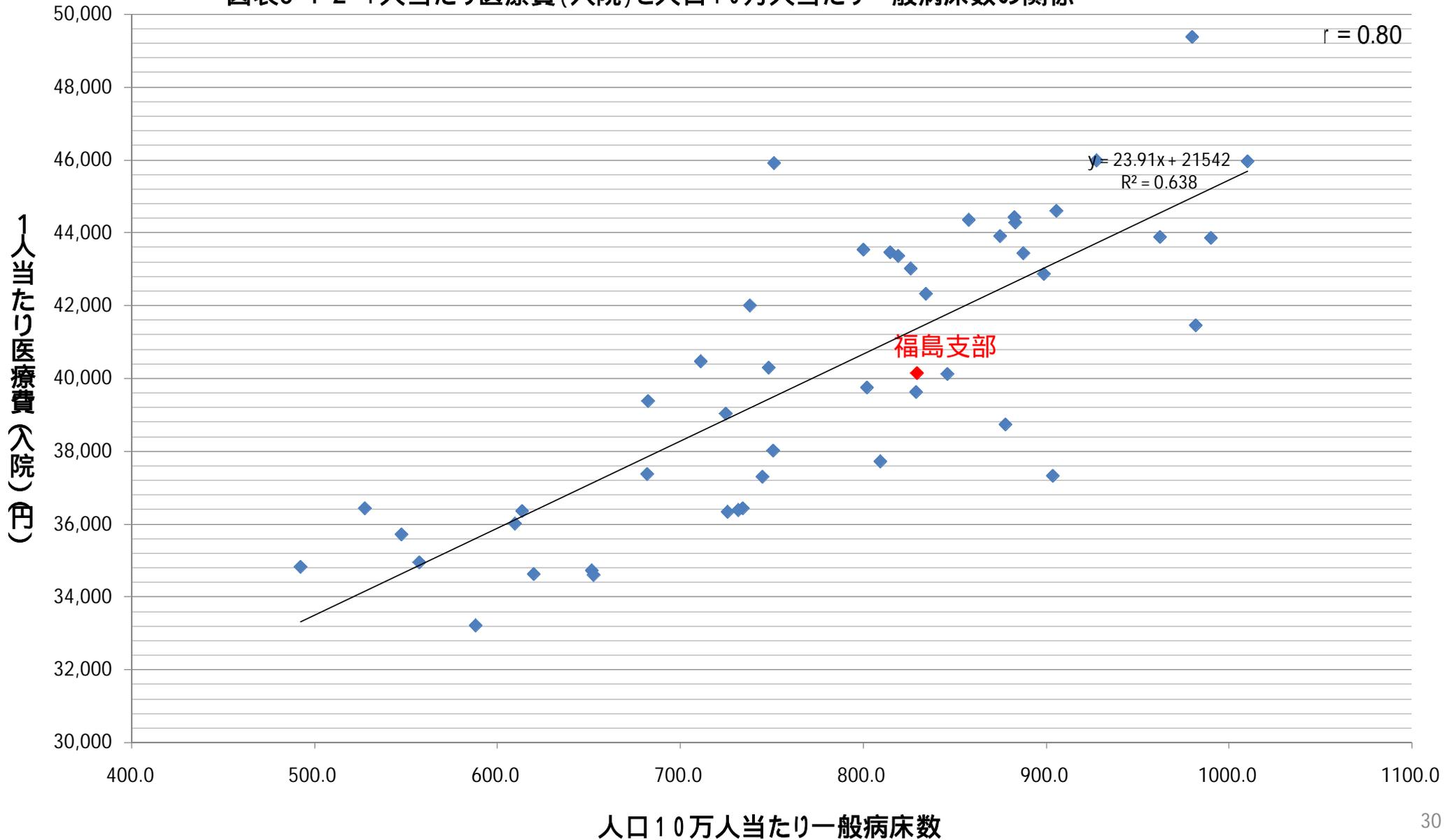
図表6-1-1 1人当たり医療費(入院)と人口10万人当たり病床数(全体)の関係



入院医療費と一般病床数の関係

1人当たり入院医療費について各都道府県の一般病床数との関係を見ると、相関係数が0.80で強い相関があった。

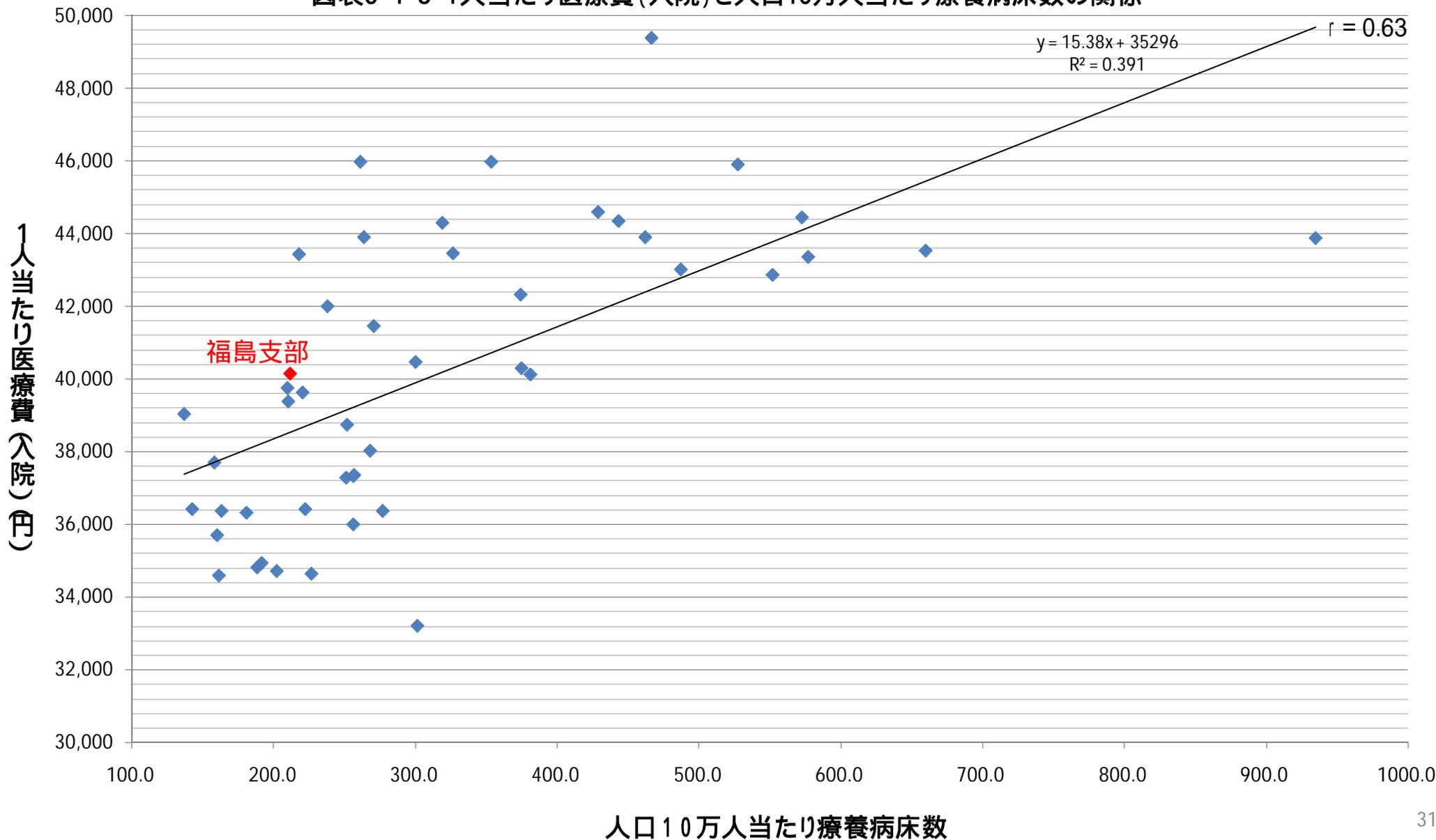
図表6-1-2 1人当たり医療費(入院)と人口10万人当たり一般病床数の関係



入院医療費と療養病床数の関係

1人当たり入院医療費について各都道府県の療養病床数との関係を見ると、相関係数が0.63で比較的強い相関があった。

図表6-1-3 1人当たり医療費(入院)と人口10万人当たり療養病床数の関係

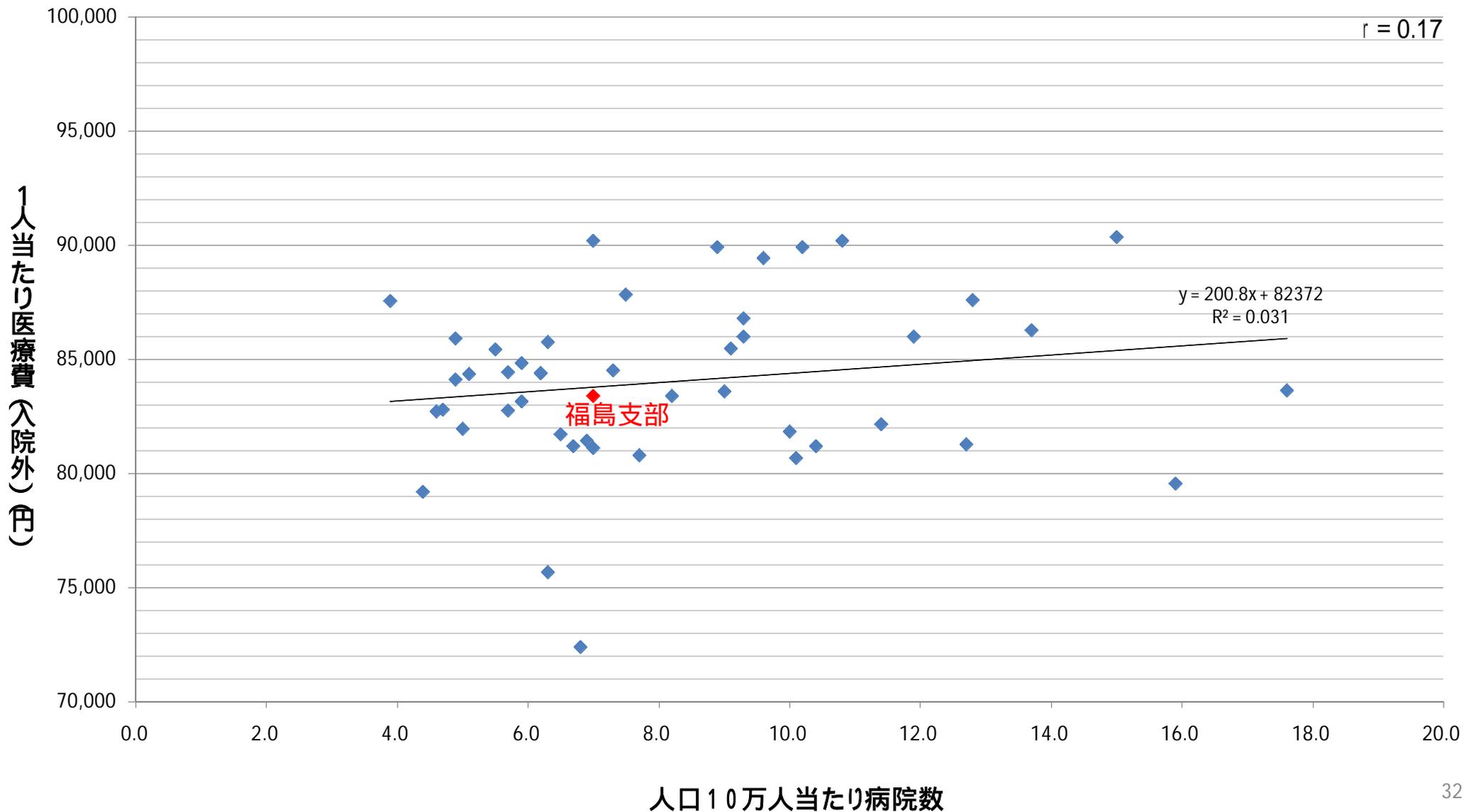


(2) 入院外医療費と医療施設数の関係

入院外医療費と病院数の関係

1人当たり入院外医療費について各都道府県の病院数との関係を見ると、相関係数が0.17で相関があまり無かった。

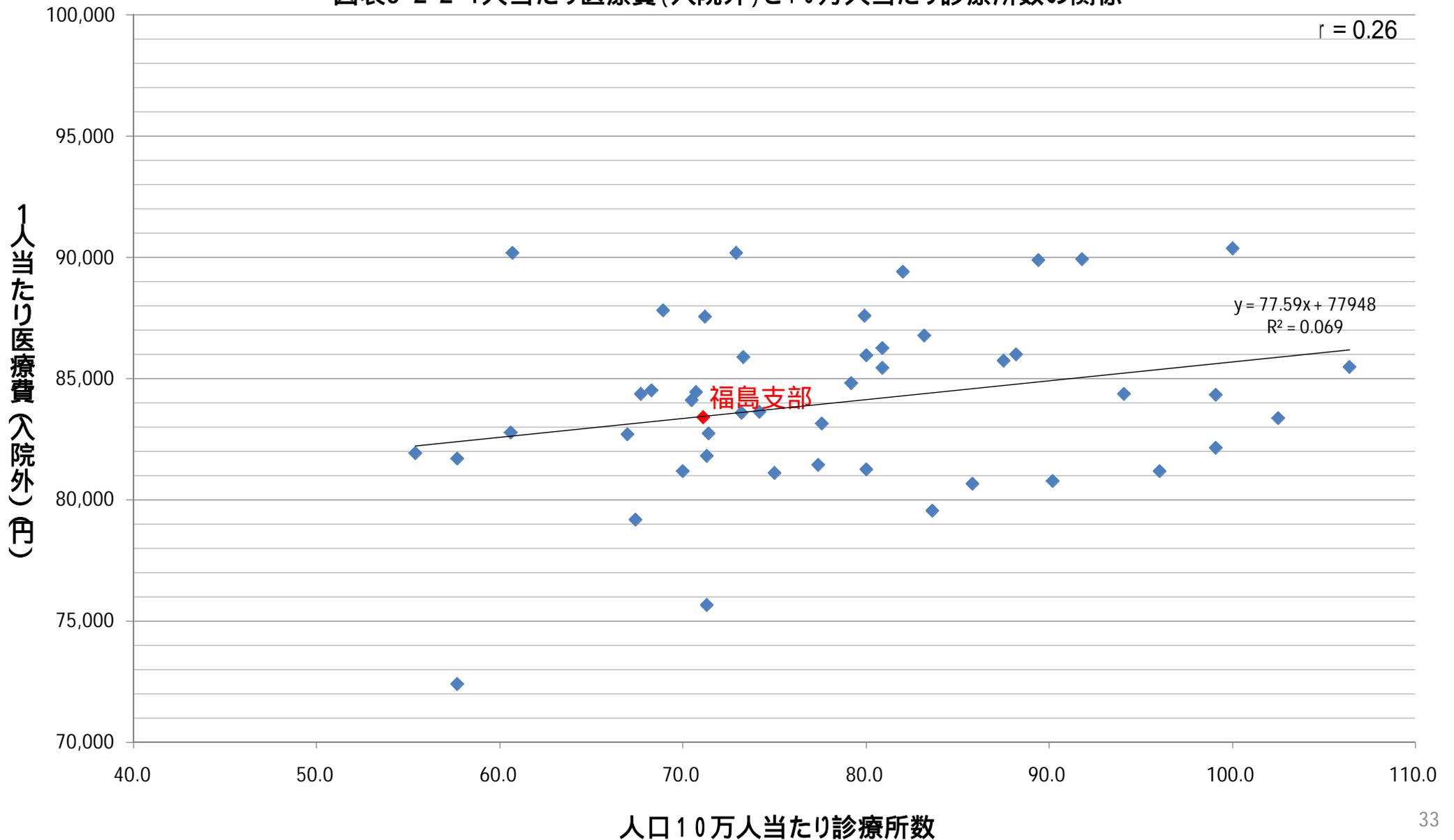
図表6-2-1 1人当たり医療費(入院外)と10万人当たり病院数の関係



入院外医療費と診療所数の関係

1人当たり入院外医療費について各都道府県の診療所数との関係を見ると、相関係数が0.26で弱い相関があった。

図表6-2-2 1人当たり医療費(入院外)と10万人当たり診療所数の関係

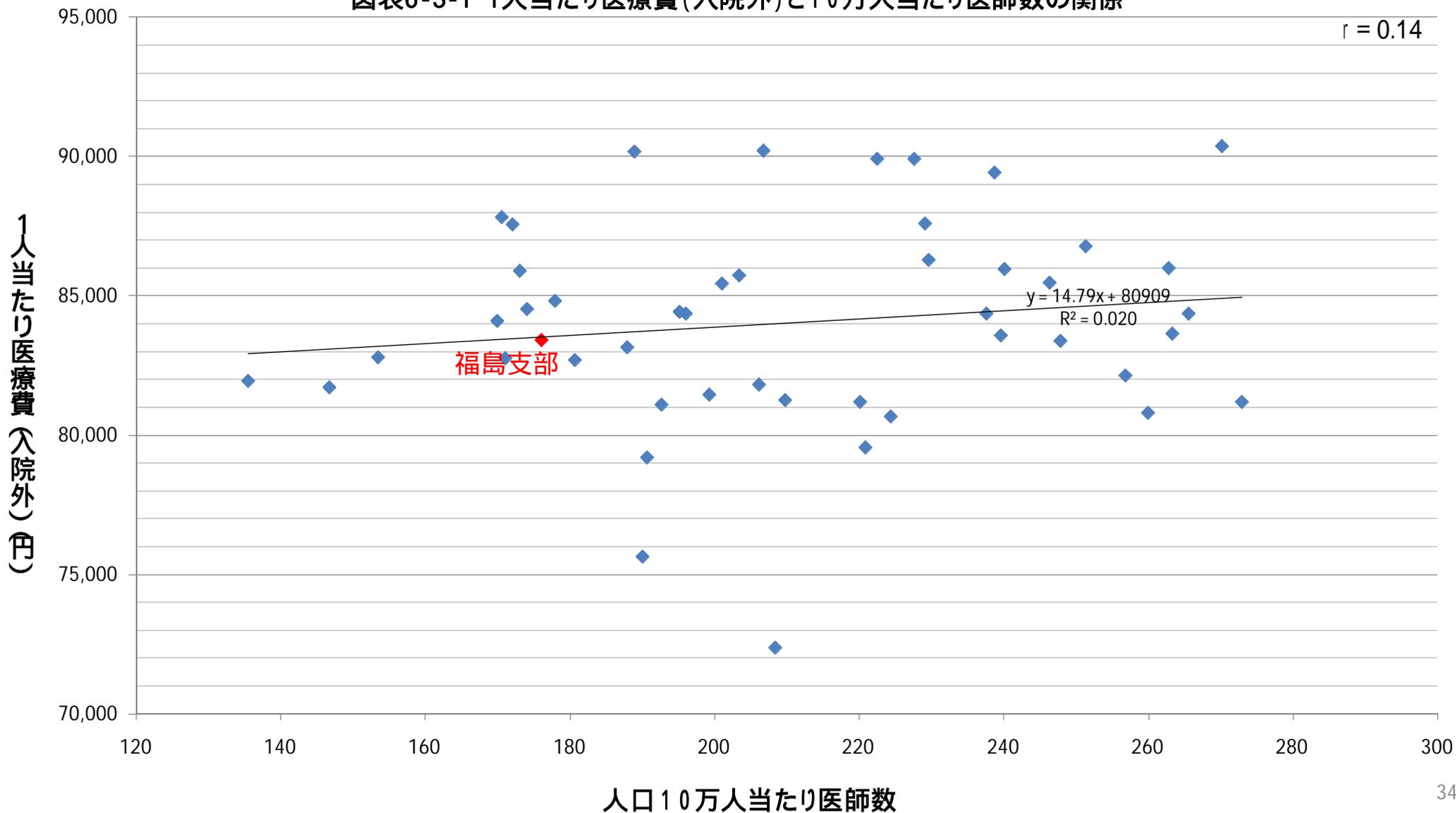


(3) 入院外医療費と医療従事者の関係

入院外医療費と医師数の関係

1人当たり入院外医療費について10万人当たり医師数との関係を見ると、相関係数が0.14で相関があまり無かった。

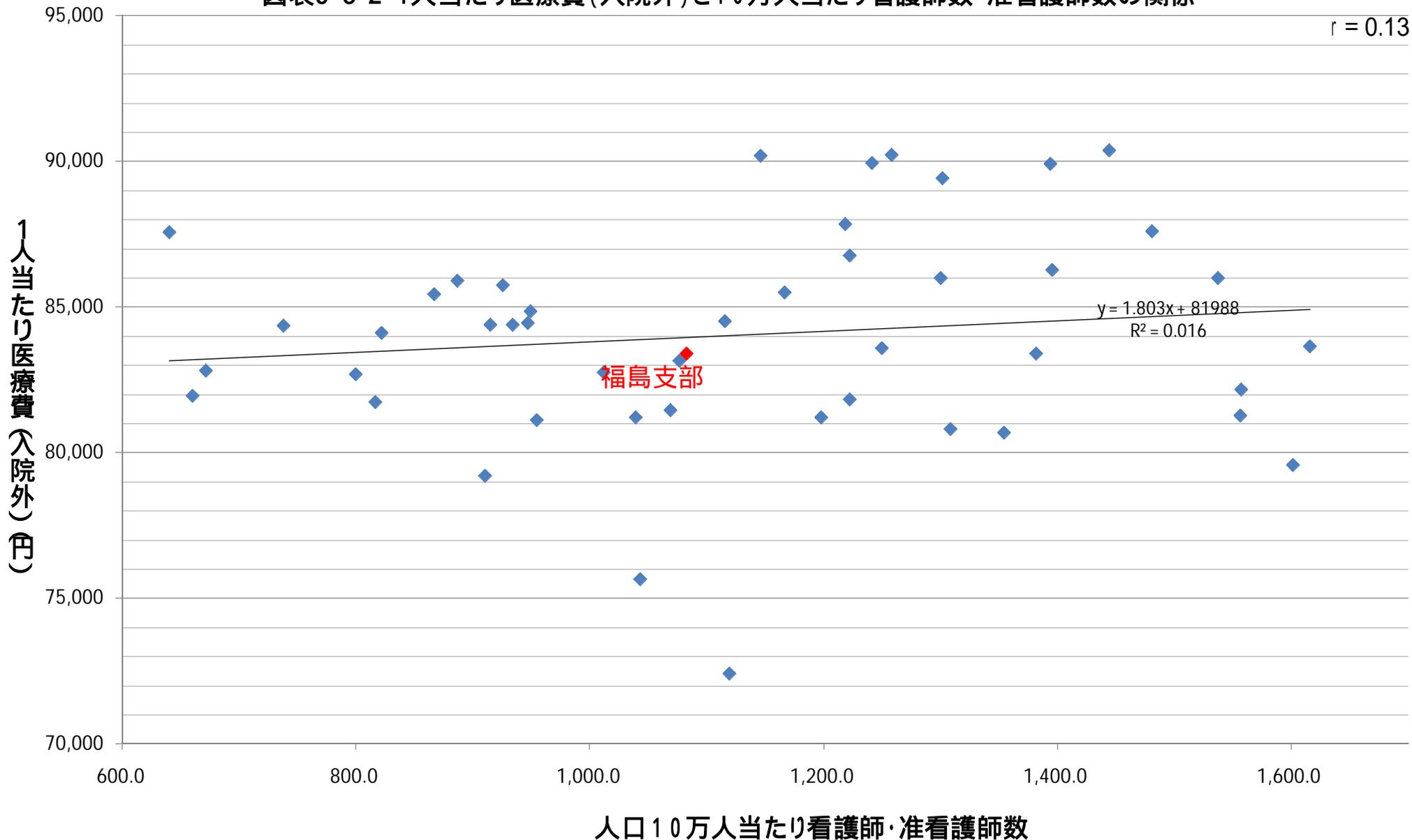
図表6-3-1 1人当たり医療費(入院外)と10万人当たり医師数の関係



入院外医療費と看護師・准看護師数の関係

1人当たり入院外医療費について10万人当たり看護師・准看護師数との関係を見ると、相関係数が0.13で、あまり相関がなかった。

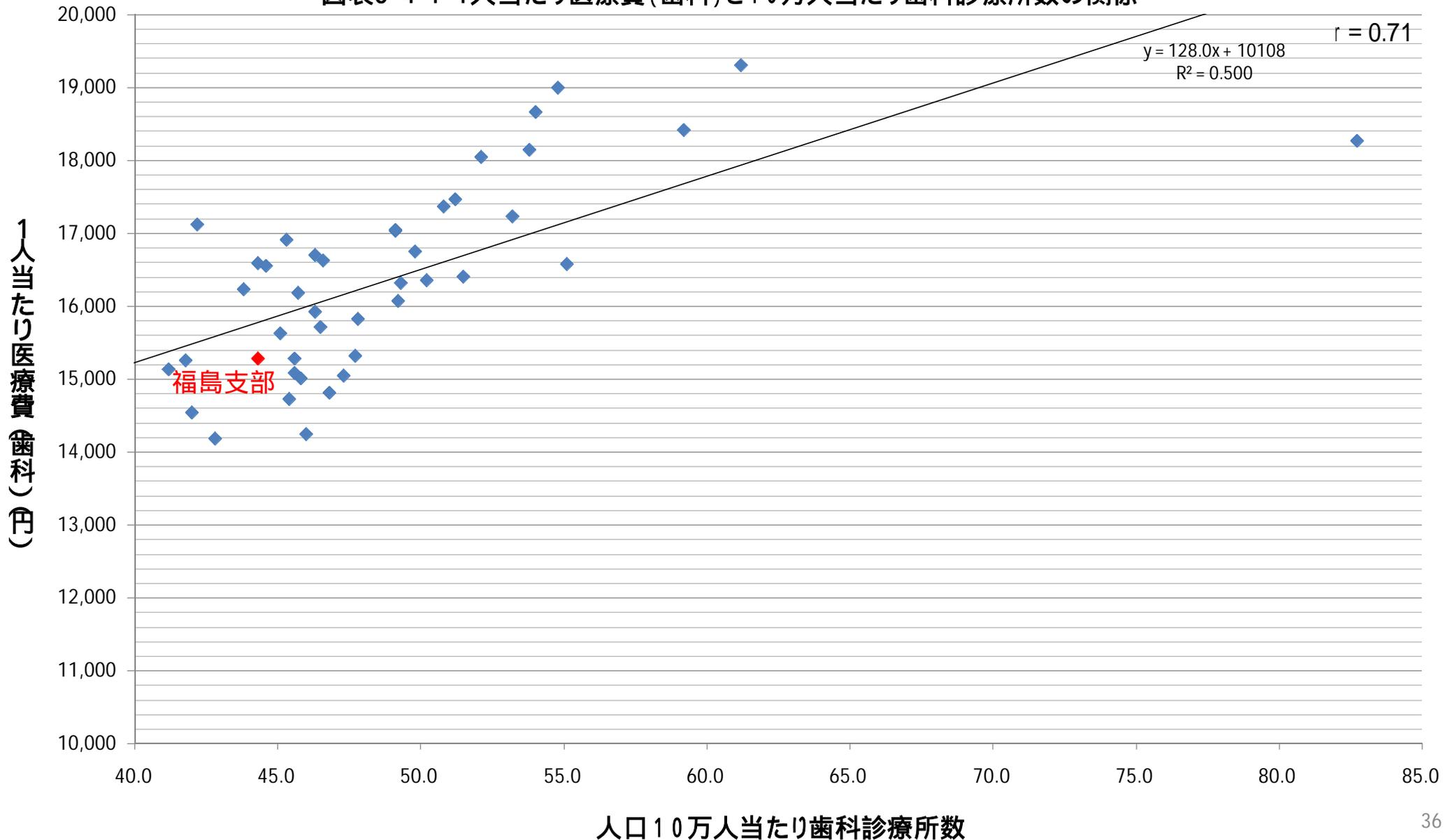
図表6-3-2 1人当たり医療費(入院外)と10万人当たり看護師数・准看護師数の関係



(4) 歯科医療費と歯科診療所数の関係

1人当たり歯科医療費について各都道府県の歯科診療所数との関係を見ると、相関係数が0.71で強い相関があった。

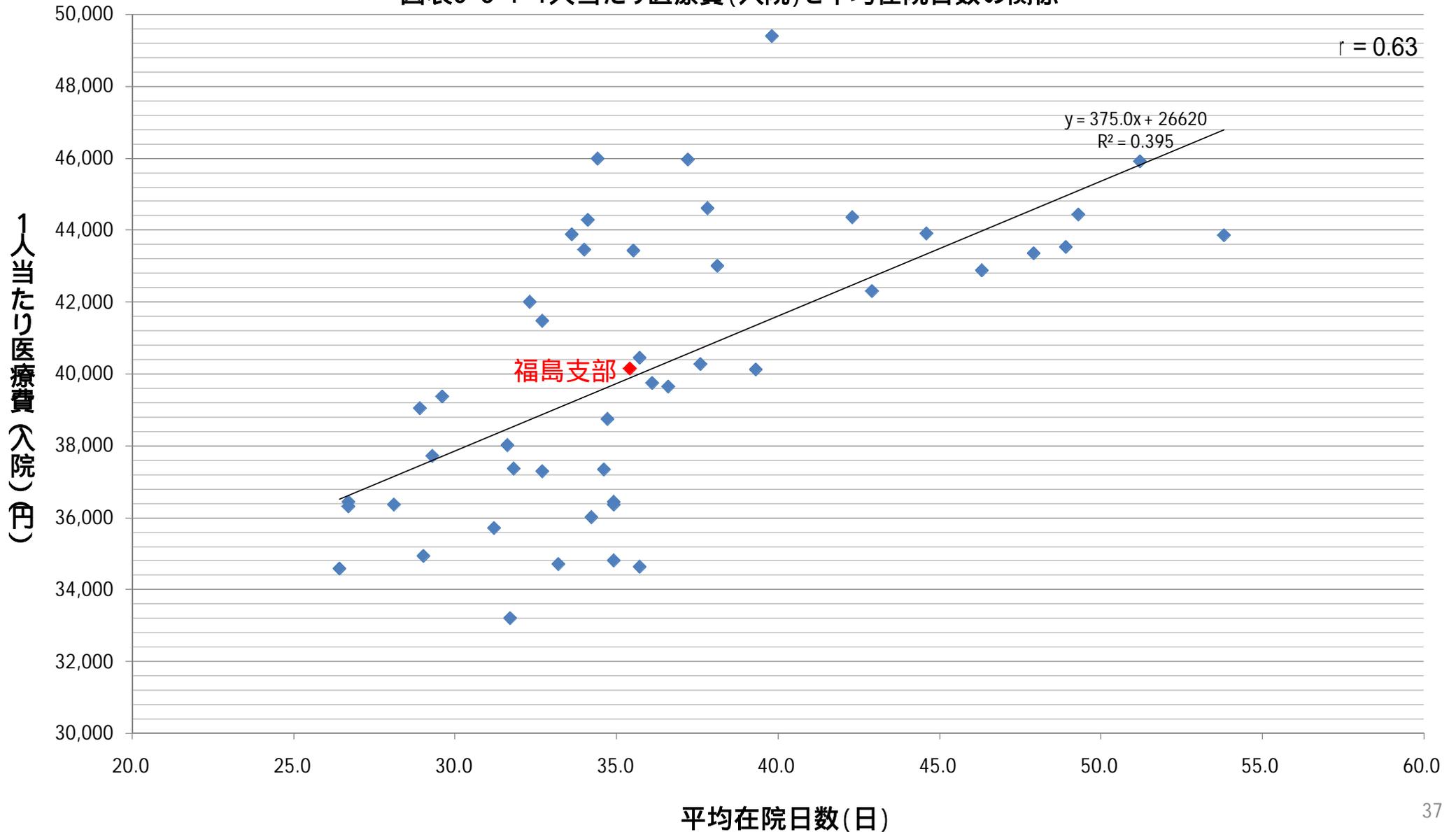
図表6-4-1 1人当たり医療費(歯科)と10万人当たり歯科診療所数の関係



(4) 入院医療費と平均在院日数の関係

1人当たり入院医療費について各都道府県の平均在院日数との関係を見ると、相関係数が0.63で比較的強い相関があった。

図表6-5-1 1人当たり医療費(入院)と平均在院日数の関係



7.これまでのデータから見た福島支部の特徴

(1) 年齢構成の特徴

福島支部は、1人当たり医療給付費が平均より高い50～59才及び70以上の加入者の構成比率が高い。しかし、1人当たり医療給付費が平均より低い10代(10～19才)の加入者の構成比率も高い。

(2) 医療費の特徴

平成15年度以降、5年間で福島支部の医療費は、約100億円増加している。福島支部医療費の伸び率は、協会けんぽ全体の医療費の伸び率を平成19年度まで上回っていた。

医療費伸び率の内訳を見ると、70才以上加入者の医療費伸び率が高い。

70才以上加入者の医療費が全体の医療費に占める割合が高い。

(3) 医療費諸率の特徴

福島支部の1人当たり医療費は、入院、入院外及び歯科ともに全国平均レベルである。
(それぞれ全国23位、27位、35位)

福島支部の受診率(1,000人当たり件数)も入院、入院外ともに全国平均レベルである。
(入院、入院外ともに全国23位)

(4) 医療体制の特徴

人口10万人当たり病院数、診療所数、病床数などの福島支部の医療供給体制は、全国平均レベルである。(それぞれ全国23位、34位、23位)

福島支部の人口10万人あたり医師数、看護師・准看護師数などの医療従事者の数も全国平均レベルである。(それぞれ全国38位、26位)

(5) 医療費と医療供給体制の関係の特徴

1人当たり医療費(入院)は、人口10万人当たり病床数と強い相関がある。

1人当たり医療費(入院外)は、人口10万人当たり病院数、診療所数、医師数などとあまり相関がない。

1人当たり医療費(歯科)は、人口10万人当たり歯科診療所数と強い相関がある。

1人当たり医療費(入院)は、平均在院日数と比較的強い相関がある。

(6) まとめ

福島支部の1人当たり医療費は、ほぼ全国平均レベルにある。これは次の要因によるものと考えられる。

福島支部加入者の年齢構成は、70才以上の加入者の割合が全国平均より高い一方で、10代加入者の割合も全国平均より高く加入者のバランスがとれている。

医療費諸率と相関のある医療供給体制が全国平均レベルであり、これにより1人当たり医療費も全国平均レベルにある。